



平成22年度
山梨県商圈実態調査結果報告書



山梨県商工会連合会
甲府商工会議所
富士吉田商工会議所

あ い さ つ

少子高齢社会が到来し、また先進国としては異例の早さで人口減少も始まり、我が国の社会環境は急激に変化しています。経済も全体として、浮上の機運を見せず、企業間格差や地域間格差は拡大し、県内でも複合型の大型商業施設の郊外出店が相次ぎ、地域商業を取り巻く環境は大きく変化しており、「まちの顔」としての商店街の賑わいや機能は低下の一途を辿っています。

昭和53年より3年に一度、県下全域を対象として、この「商圈実態（お買い物調査）」を実施しており、今回で12回目になります。本調査は、衣料品、食料品などの品目ごとに買い物場所や利用店舗などを調査し、消費者購買行動の実態の把握や、地域商業の振興とまちづくりの推進につなげるために実施しておりますが、今回の調査結果をみましても、「地元商店などでの買い物」から「大型店等の利用」に購買行動の変化がさらに進み、地域の商店や商店街にとって益々厳しい結果となっています。

こうした中、地域の活力再生や活性化は待ったなしの状況を迎えております。地域経済の厳しい状況が続いておりますが、本調査を活用し分析することにより、地域での購買行動を把握し、地域コミュニティの再生や魅力的なまちづくりを進める上での一助としていただければ幸いです。

最後に、本調査の実施にあたり、山梨県、山梨県教育委員会、各市町村教育委員会、各中学校から絶大なるご協力をいただきました。ここに深く感謝申し上げます、あいさつとさせていただきます。

平成23年3月

山梨県商工会連合会

会長 **竹井清八**

目次

I 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査機関	1
3. 調査実施経過	1
4. 調査対象	1
5. 調査票の配布・回収状況	1
6. 回答者の属性	2
7. 調査項目	2
8. 調査票の配布および回収方法	2
9. 地区別の区分	2
10. 調査票の集計方法	2
11. 用語の定義	3
12. 利用上の注意	3
13. 集計結果の利用方法	5

II 調査結果の概要

1. 県内消費者の買い物場所とその推移	6
2. 地区別にみた県内消費者の買い物場所とその推移	6
3. 地元購買率の推移	7
（1）市町村別にみた地元購買率の推移	7
（2）全市町村でみた地元購買率の推移	7
（3）旧甲府市での購買率の推移	11
（4）富士吉田市での購買率の推移	13
4. 商圏の形成状況	14
5. 利用店舗の状況	16
6. 地元の商店・商店街に関する要望	19
調査結果資料編	
図14 旧甲府市商圏	21
図15 旧田富町商圏	22
図16 昭和町商圏	23
図17 韮崎市商圏	24
図18 旧石和町商圏	25

図 1 9 富士吉田市商圈	26
表 1 買い物場所とその推移	27
表 2 地元市町村での購買率	29
表 3 旧甲府市における購買率（全県）	31
表 4-1 県内消費者の購買行動図（購買率）	34
表 4-2 県内の主な商圈（10%以上）	36
表 4-3 県内消費者の購買行動図（5%増減）	38

Ⅲ 調査集計結果

1. 県下（全品目）集計結果表	42
2. 地区別（全品目）集計結果表	
峡中地区	46
峡東地区	48
峡南地区	49
峡北地区	50
富士・東部地区	51
3. 市町村別（全品目）集計結果表	
<峡中地区>	
旧 甲 府 市	56
旧 中 道 町	57
旧 八 田 村	58
旧 白 根 町	59
旧 芦 安 村	60
旧 若 草 町	61
旧 櫛 形 町	62
旧 甲 西 町	63
旧 竜 王 町	64
旧 敷 島 町	65
旧 双 葉 町	66
旧 玉 穂 町	67
旧 田 富 町	68
旧 豊 富 村	69
昭 和 町	70
(参考データ)	
甲 府 市	71
南アルプス市	72
甲 斐 市	73

中 央 市	74
< 峡東地区 >	
旧 山 梨 市	78
旧 牧 丘 町	79
旧 三 富 村	80
旧 春 日 居 町	81
旧 石 和 町	82
旧 御 坂 町	83
旧 一 宮 町	84
旧 八 代 町	85
旧 境 川 村	86
旧 芦 川 村	87
旧 塩 山 市	88
旧 勝 沼 町	89
旧 大 和 村	90
(参考データ)	
山 梨 市	91
笛 吹 市	92
甲 州 市	93
< 峡南地区 >	
旧 三 珠 町	96
旧 市 川 大 門 町	97
旧 六 郷 町	98
旧 増 穂 町	99
旧 鰻 沢 町	100
早 川 町	101
旧 下 部 町	102
旧 中 富 町	103
旧 身 延 町	104
旧 南 部 町	105
旧 富 沢 町	106
(参考データ)	
市 川 三 郷 町	107
身 延 町	108
南 部 町	109
富 士 川 町	110
< 峡北地区 >	
韭 崎 市	114
旧 明 野 村	115

旧 須 玉 町	116
旧 高 根 町	117
旧 長 坂 町	118
旧 大 泉 村	119
旧 白 州 町	120
旧 武 川 村	121
旧 小 淵 沢 町	122
(参考データ)	
北 杜 市	123
<富士・東部地区>	
富 士 吉 田 市	126
都 留 市	127
大 月 市	128
旧 上 野 原 町	129
旧 秋 山 村	130
道 志 村	131
西 桂 町	132
忍 野 村	133
山 中 湖 村	134
鳴 沢 村	135
旧 河 口 湖 町	136
旧 勝 山 村	137
旧 足 和 田 村	138
旧 上 九 一 色 村	139
小 菅 村	140
丹 波 山 村	141
(参考データ)	
上 野 原 市	142
富 士 河 口 湖 町	143

IV 資料

資料 1	調査時点の市町村別人口・世帯数	146
資料 2	市町村別回答者の年齢構成	148
資料 3	市町村別回答者の職業構成	151
資料 4	市町村別地元商店・商店街に関する要望	154
資料 5	山梨県全体図	157
資料 6	調査票のサンプル	158

報 告 書

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、県下全域の消費者購買行動の実態を調査、把握し、地域商業の振興ならびに、各地域のまちづくりの推進を図るための資料とすることを目的とする。

2. 調査機関

(1) 実施機関 山梨県商工会連合会、県下24商工会、甲府商工会議所、富士吉田商工会議所

(2) 協力機関 山梨県
山梨県教育委員会
各市町村
各市町村教育委員会
県下公立中学校

3. 調査実施経過

調査票配布 平成22年6月中旬
調査票回収 平成22年7月下旬
集計・分析 平成22年8月～平成23年1月

4. 調査対象 県下公立中学校1学年在学生の全世帯

5. 調査票の配布・回収状況

- 配布世帯数 8,339世帯
- 回収世帯数 6,898世帯 (回収率 82.7%)
- 有効回答世帯数 6,867世帯 (有効回答率 82.3%)

地区名	配布世帯数	回収世帯数	回収率	世帯数	配布率
峡中地区	3,567	2,860	80.2%	158,397	2.3%
峡東地区	1,470	1,121	76.3%	54,402	2.7%
峡南地区	630	510	81.0%	23,003	2.7%
峡北地区	775	695	89.7%	32,274	2.4%
富士・東部地区	1,897	1,712	90.2%	69,337	2.7%
計	8,339	6,898	82.7%	337,413	2.5%

*世帯数は、平成22年4月時点における市町村別世帯数(資料1)により集計した。

*配布率は、今回調査の配布対象世帯の全世帯に占める割合=[(配布世帯数)/(世帯数)×100]により算出した。

6. 回答者の属性

年齢層	回答数	構成比
～30代	1,302	18.9%
40代	4,272	61.9%
50代	893	12.9%
60代～	343	5.0%
無回答	88	1.3%
合計	6,898	100.0%

職業	回答数	構成比
給与所得者	4,985	72.3%
商業	97	1.4%
工業	177	2.6%
サービス業	485	7.0%
農林業	118	1.7%
その他	838	12.1%
無回答	198	2.9%
合計	6,898	100.0%

7. 調査項目

- (1) 調査対象世帯の特性（職業・年齢）
- (2) 地元の商店・商店街やまちづくりに関する要望
- (3) 品目別（19品目）と飲食・外食の利用店舗、買い物場所

* (1)、(2)の項目は、県下全地区の共通項目

* (3)の買い物場所について、県下5つのエリア（峡中〈甲府市を含む〉、峡東、峡南、峡北、富士・東部〈富士吉田市を含む〉）で、地区エリアを考慮し買い物場所（市町村）を調査票に記載。

（上記エリアごとの買い物場所については、資料編の調査票参照）

8. 調査表の配布および回収方法

中学校を介して調査票を配布・回収

9. 地区別の区分

- 峡中地区：甲府市・南アルプス市・甲斐市・中央市・中巨摩郡
- 峡東地区：山梨市・笛吹市・甲州市
- 峡南地区：西八代郡・南巨摩郡
- 峡北地区：韮崎市・北杜市
- 富士・東部地区：富士吉田市・都留市・大月市・上野原市・南都留郡・北都留郡

10. 調査票の集計方法

この調査の集計については、世帯を単位として、各商品品目別の買い物場所（市町村）について、主な買い物場所を◎、次に買い物をする場所に○を付したもので、各品目別の回答の◎を2ポイント、○を1ポイントとして加重し、その買い物場所についてパーセントで表している。

11. 用語の定義

(1) 地元購買率

各市町村に居住する消費者が、地元市町村で買い物あるいは飲食をする割合

(2) 流出率

地元市町村の世帯が、他の市町村で買い物する割合

(3) 流入率

他の市町村から当該市町村で買い物する割合

12. 利用上の注意

(1) 調査内容の変更点

本調査においては、消費者の購買動向をよりの確に把握するために、また有効な分析を行うために、その都度調査項目等の変更を行っている。このため、本調査の結果を時系列分析等に利用する場合は、連続性・関連性等に留意し活用いただきたい。

内容の変更を行った部分は次の通りである。

①平成10年の変更点

- 利用店舗の「専門店」項目の削除。
- 買い物場所項目に、「竜王町バイパス」、「石和バイパス」、「一宮バイパスを追加」。
また、富士吉田市を「富士吉田市中心部」「バイパス」「その他市内」に細分化した。

②平成13年度の変更点

- 買い物場所項目に、「昭和バイパス」、「その他」を追加。「その他」の項目については、調査項目にない買い物場所（市町村名）を記入できるようにした。
- 商品項目の衣料品に、「子供衣料」項目を追加。
- 地元商店・商店街に対する要望項目を変更した。

③平成16年度の変更点

- 峡中地区・峡北地区の買い物場所項目に、「双葉町」を追加した。
- 回答者の属性を「農業者」「自営業」「勤労者」「その他」「無回答」の5区分から「給与所得者」「商業」「工業」「サービス業」「農林業」「その他」「無回答」の7区分とした。
- 市町村合併に伴い、調査時点の6月までに合併した市町村については、調査の詳細を把握する意味で、新市町名と旧町村名で併記した（図14～図19・表1～表3・表4-1・表4-3）。また、これに伴い、合併前からの推移を確認するため、平成13年のみ数値等を括弧書きで表示した（表1～表3）。
（対象市町村：南アルプス市・南部町・富士河口湖町）
- 表4-1・表4-3 県内消費者の購買行動図の、甲府市の買い物場所に「中心商店街」を追加し、富士吉田市の買い物場所の名称を「中心部」「バイパス」「そ

の他市内」に変更した。

- Ⅲ 調査集計結果の市町村別集計結果表の富士・東部地区の富士吉田市に小計を追加した。また、南アルプス市・南部町・富士河口湖町については、それぞれ旧町村別の集計結果表を掲載した。

④平成19年度の変更点

- 市町村合併に伴い、平成19年4月には、現在の28市町村になったが、本調査では、継続的調査の観点から、できる限り旧65市町村で分析した。

なお、本調査表では、合併前の市町村名を使うときは「旧」を付けて標記した。

例：甲府市＝旧甲府市＋旧中道町＋旧上九一色村（北部）

旧甲府市＝合併する前の（旧中道町・旧上九一色村（北部）が入らない）
甲府市

- 市町村合併に伴い、調査対象地区が異なった地区（甲府市・甲斐市・富士河口湖町）のデータ出力を変更した（内容は各市町村の表のとおり）。
- 商圈等の捉え方について前回は一部合併後の市町村単位で算出したが、継続的調査の観点から、今回の調査では旧65市町村での分析に戻した。
- 峡東地区版・峡南地区版・峡北地区版の買い物場所項目で、甲府市に「甲府市中心商店街」「甲府市その他」を付け加えて細分化した。また、富士・東部地区版の買い物場所項目で富士吉田市に「中心商店街」を付け加えて、細分化した。

※ なお、今回の調査において、旧町村単位等での集計が不能な地区及び集計不能の理由は下記のとおり。

該 当 地 区	集 計 不 能 の 理 由
旧上九一色村北部・旧豊富村・旧境川村・旧富沢町	旧町村ごとの集計ができなかったため

⑤平成22年度の変更点

- 調査票の調査項目4の「⑨環境を考えた取り組み」に続けて、（ノーレジ袋・マイバック推進運動等）の文言を追加。「⑩福祉に配慮した取り組み」に続けて、（バリアフリー化・子育て支援等）の文言を追加した。
- 調査票の調査項目5の「買い物場所」と「利用店舗」の表の位置を入れ替えた。
- 峡中地区版の買い物場所にある「朝日町通り」を「朝日・美咲」に変更した。
- 峡東地区版の買い物場所に、「甲斐市」（「旧竜王町」、「竜王バイパス」、「旧敷島町」、「旧双葉町」）を追加した。
- 峡南地区版の買い物場所に、「富士川町」（「旧増穂町」、「旧鯉沢町」）と「甲斐市」（「旧竜王町」、「竜王バイパス」、「旧敷島町」、「旧双葉町」）を追加した。
- 峡北地区版の買い物場所に、「中央市」（「旧玉穂町」、「旧田富町」）を追加した。
- 富士・東部地区版の買い物場所に、「甲斐市」（「旧竜王町」、「竜王バイパス」、「旧敷島町」、「旧双葉町」）を追加した。また、「甲府市内」を「中心商店街」に変更した。
- Ⅲ 調査集計結果の地区別（全品目）集計結果表の富士・東部地区を（富士吉田を含む）と（富士吉田を除く）に集計を分けた。
- Ⅲ 調査集計結果の各集計結果表の利用店舗の項目に「無回答」欄を追加した。

※ 過去の集計と比較する場合は、今回無回答分も含めて計算してあるため、無回答分を差し引いた後、百分率を割り出し比較する必要がある。

- Ⅲ 調査集計結果の各集計結果表の利用店舗の項目に「その他」欄を追加した。
- Ⅲ 調査集計結果の地区別（全品目）集計結果表の峡中地区（甲府を含む）に「国母・高畑」、「酒折・善光寺」、「左記以外自宅近隣」の欄を追加した。
- 資料 1 市町村人口・世帯数は町村合併に伴い、現行の市町村の表とした。

13. 集計結果の利用方法

この集計表は、品目別にその買い物先である市町村の購買頻度をパーセントで示してある。したがって流出または流入する世帯数（人口）を求める場合は、市町村ごとの世帯にそのパーセントを乗ずることによって得られる。

また、目安としての流出入の購買額を試算する場合には、家計調査年報等を活用して、一世帯あたりの品目支出金額に、前記により求めた市町村世帯数を乗ずれば得られる。

II. 調査結果の概要

1. 県内消費者の買い物場所とその推移

県内消費者の買い物場所を県全体・全品目でみた結果が表1（P27～28）の通りである。旧甲府市が前回同様第1位で、23.0%（うち中心市街地 2.3%、甲府バイパス 8.5%）であり、平成10年の調査から連続で減少してきた前回調査（平成19年）より、1.2%増加している（平成10年：28.9%）、（平成13年：24.2%）、（平成16年：23.4%）（平成19年：21.8%）。

第2位から第10位までは、次のとおりである。

第2位	富士吉田市	(10.2%)	〈前回2位〉	第6位	韮崎市	(3.9%)	〈前回9位〉
第3位	昭和町	(8.6%)	〈前回3位〉	第7位	旧塩山市	(3.8%)	〈前回7位〉
第4位	旧田富町	(8.3%)	〈前回4位〉	第8位	都留市	(3.7%)	〈前回6位〉
第5位	旧石和町	(6.1%)	〈前回5位〉	第9位	旧双葉町	(3.5%)	〈前回17位〉
				第10位	旧櫛形町・旧竜王町	(3.3%)	〈前回7位〉〈前回10位〉

(1) 増加している主な地区

今回最大の増加は、旧双葉町の+2.6ポイントである。続いて、旧玉穂町の+2.0ポイント、旧甲府市の+1.2ポイント、韮崎市の+0.5ポイントとなっている。また、前回・今回ともに増加しているのは、旧竜王町・旧双葉町・旧塩山市になる。前回増加（+1.5ポイント）した旧石和町は、-0.1ポイントとなっている。

(2) 減少している主な地区

今回最大の減少は、昭和町の-1.6ポイントである。続いて、旧田富町の-1.4ポイント、富士吉田市の-0.9ポイントとなり、富士吉田市については、前回の-1.1ポイントと合わせ、近年の減少が目立っている。また、大月市・旧一宮町についても、前回・今回ともに-0.3ポイントずつ連続で減少している。

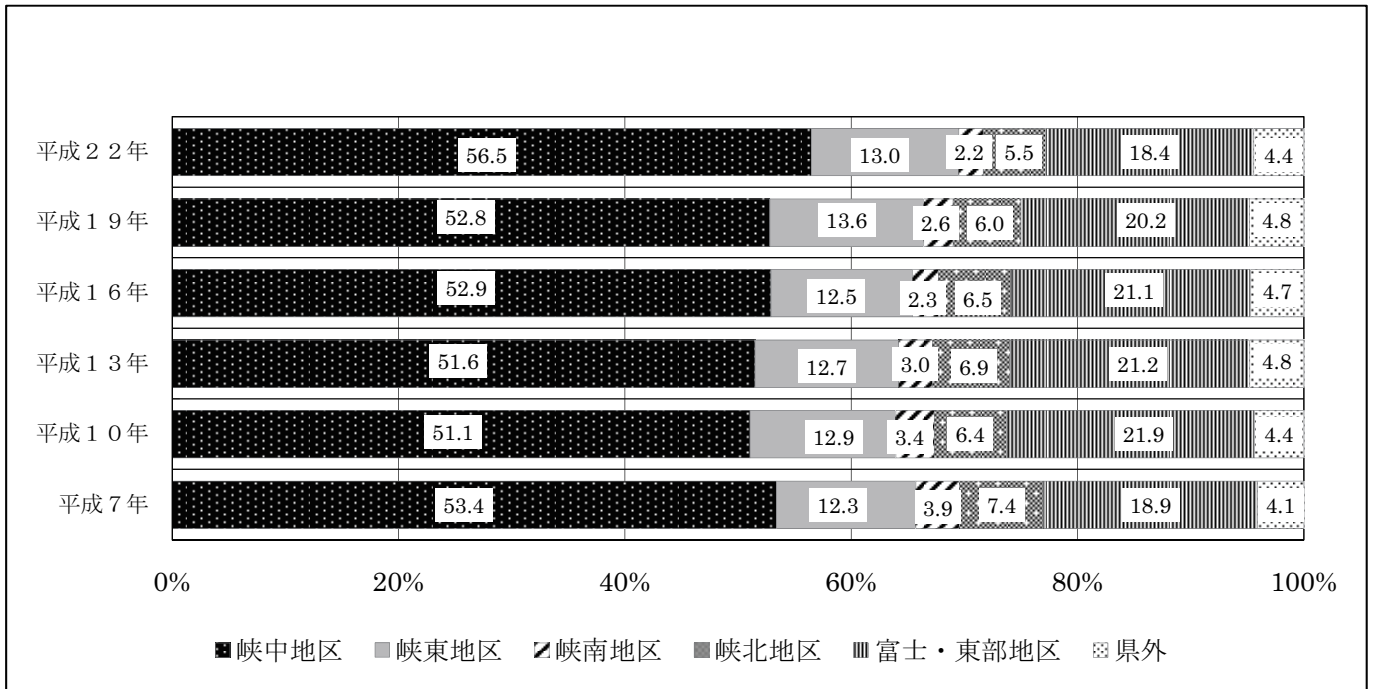
2. 地区別にみた県内消費者の買い物場所とその推移

県内を5つ、県外を1つにまとめた買い物場所とその推移をまとめたのが、つぎの図1である。

今回の調査でも甲府市、南アルプス市、甲斐市、中央市など峡中地区が56.5%と圧倒的に大きいシェアを有しており、ついで富士吉田市、都留市、大月市などの富士・東部地区が18.4%、山梨市、笛吹市、甲州市などの峡東地区が13.0%、韮崎市、北杜市の峡北地区が5.5%、東京都、静岡県、神奈川県など県外が4.4%、旧増穂町、旧身延町、旧市川大門町などの峡南地区が2.2%となっている。

前回の調査と比較すると、峡中地区が+3.7ポイントとシェアを拡大する一方で、その他全地区がシェアを落としている。減少幅は、富士・東部地区が-1.8ポイントと一番大きく、峡東地区が-0.6ポイント、峡北地区が-0.5ポイント、峡南地区が-0.4ポイント、県外が-0.4ポイントとなっている。

図1 地区別買い物場所の推移



3. 地元購買率の推移

(1) 市町村別にみた地元購買率の推移

地元市町村での購買率をまとめたものが、表2 (P29~30) の通りである。

購買率が増加した主な市町村は、旧玉穂町+20.2ポイント、旧双葉町+16.8ポイント、韮崎市+7.7ポイントなどになる。

一方、購買率が減少した主な市町村は旧身延町-7.6ポイント、旧昭和町-4.3ポイント、旧市川大門町-4.1ポイントなどの減少が目立つ。

※ (旧境川村、旧富沢町、丹波山村は、サンプル数による変動幅が大きい為、参考データとして下さい)

(2) 全市町村でみた地元購買率の推移

① 地元購買率の推移

全市町村における全品目地元購買率の推移を示したのが、つぎの図2-1である。

全市町村の地元購買率は、前回調査38.9%から2.0ポイント減少して、36.9%となっている。旧甲府市を除いた場合31.1% (+1.0ポイント)、旧甲府市・富士吉田市を除いた場合26.9% (+0.5ポイント) となっている。

また、参考までに合併後のデータでの購買率を算出すると (図2-2)、図2-1に比べ購買率が上昇するとともに、前回比較において、全市町村で減少幅が縮小、旧甲府市除き、旧甲府市・富士吉田市除きで増加幅が拡大することがわかる。

図 2-1 地元購買率の推移（全品目）

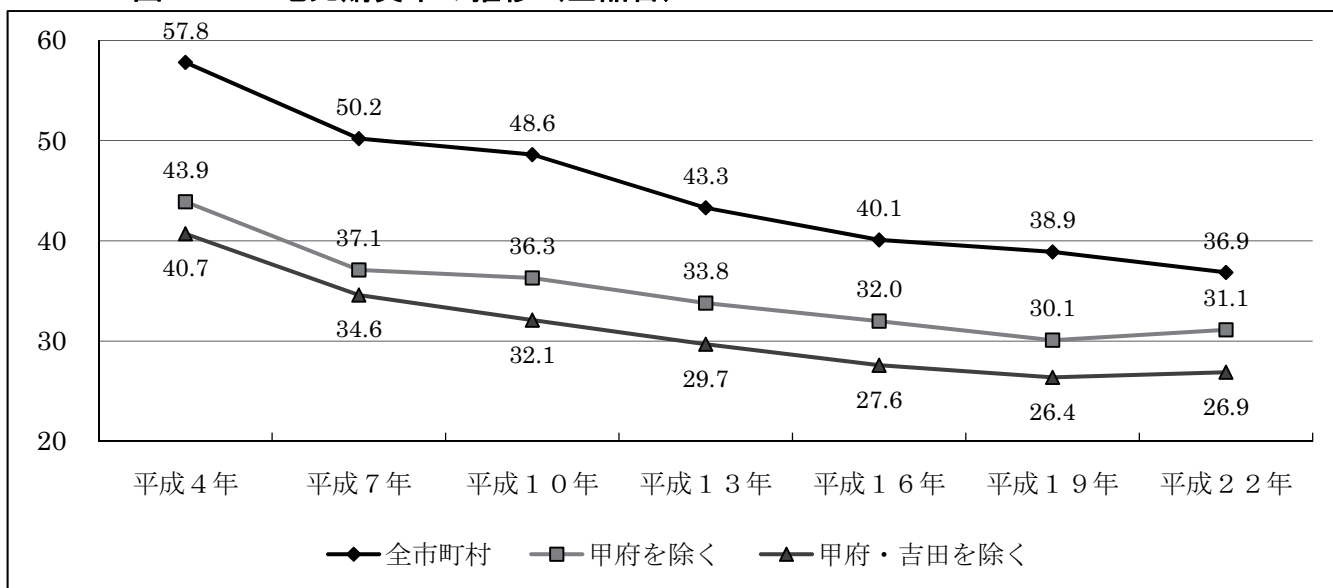
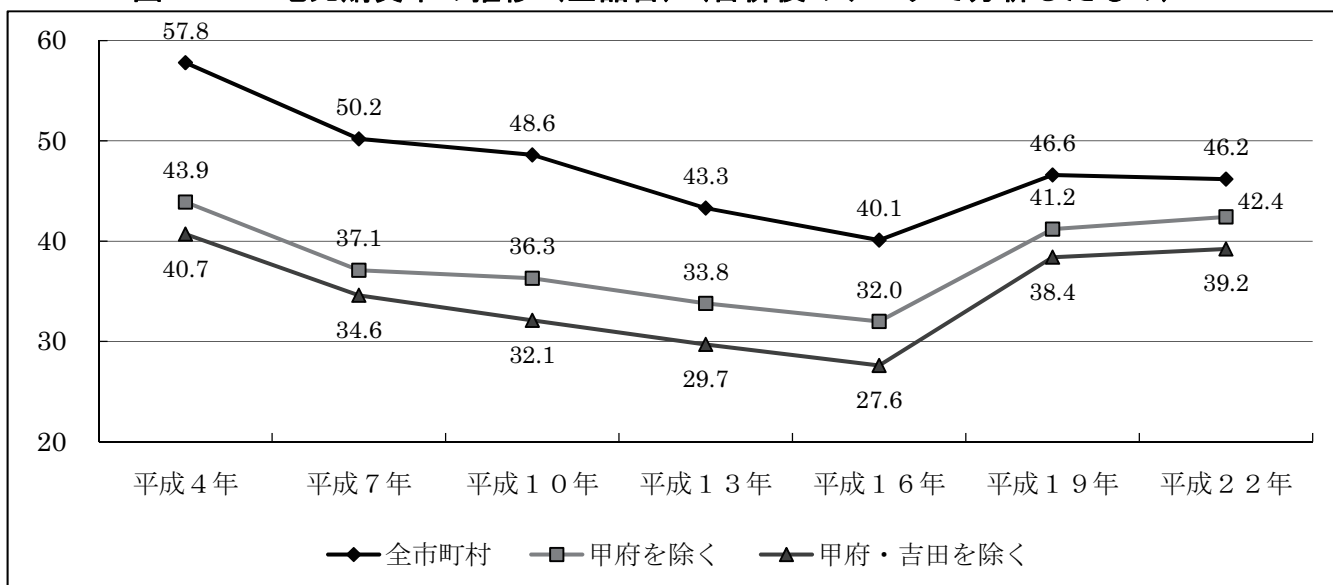


図 2-2 地元購買率の推移（全品目）（合併後のデータで分析したもの）



② 品目別地元購買率の推移

商品の品目別に地元購買率の推移を示したのが、つぎの図 3-1 である。

食料品が微減 51.3% (-0.3 ポイント) に留まる他、全ての品目で前回比減となっている。衣料品 27.3% (-3.3 ポイント)、寝具 31.4% (-3.6 ポイント)、文化品 31.5% (-4.6 ポイント)、身の回り品 24.0% (-4.5 ポイント)、その他(医薬品・化粧品等)は 40.7% (-3.8 ポイント) となっている。

また、旧甲府市を除いた場合(図 4-1)、身の回り品の購買率が 2 割を下回り、旧甲府市と富士吉田市を除いた場合(図 5-1)では、衣料品、文化品も 2 割を下回る。一方で、食料品については、旧甲府市や富士吉田市を除いた場合(図 4-1、図 5-1)で地元購買率は下がるものの、前回調査時より図 4-1 で+1.8 ポイント、図 5-1 で+1.3 ポイントの増加となっている。なお、合併後の地域でみると(図 3-2、図 4-2、図 5-2)、図 3-1、図 4-1、図 5-1 に比べ購買率が上昇するとともに、前回比較において、減少幅の縮小や増加幅の拡大がみられる。

図3-1 品目別地元購買率の推移（全市町村）

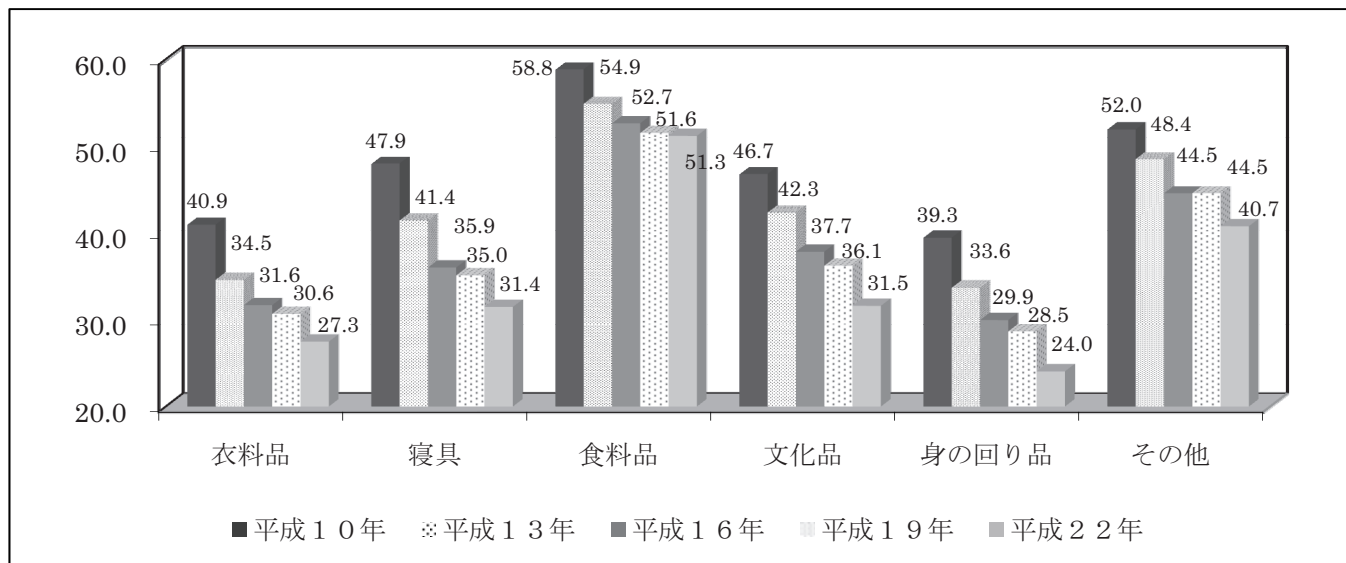


図4-1 品目別地元購買率の推移（旧甲府市除く）

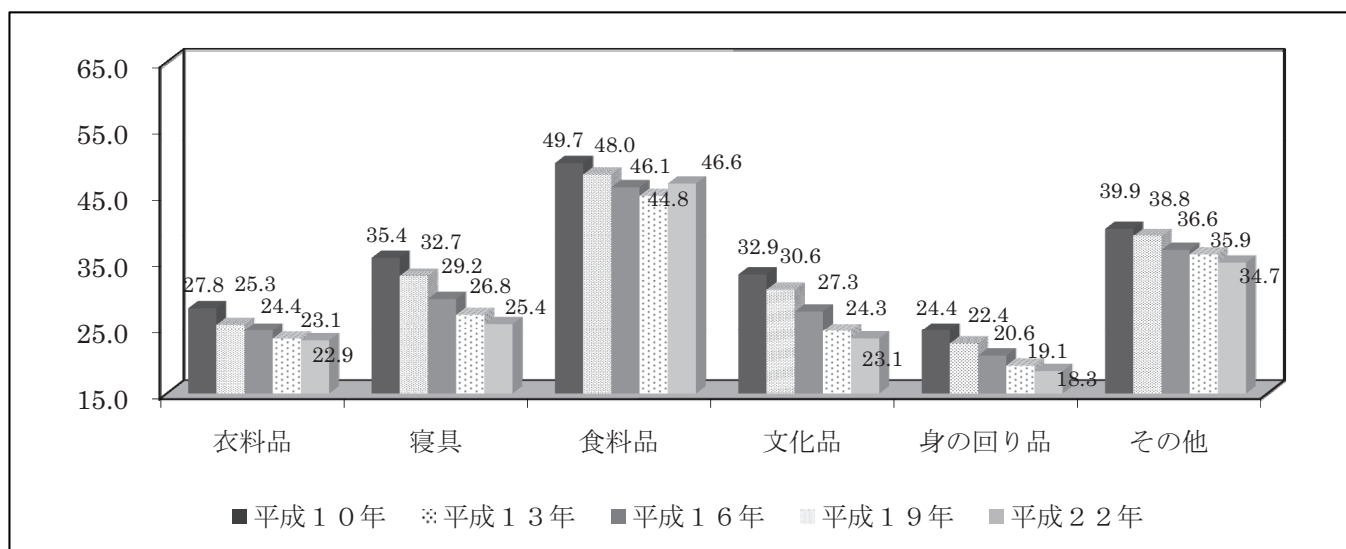


図5-1 品目別地元購買率の推移（旧甲府市・富士吉田市除く）

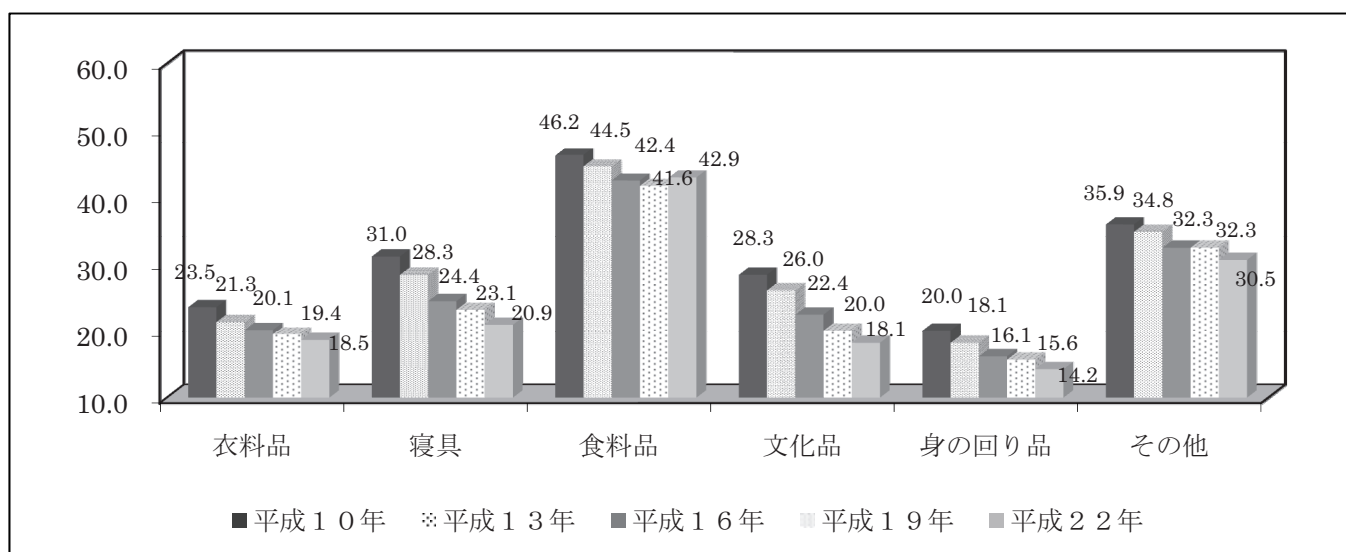


図3-2 品目別地元購買率の推移（全市町村）（合併後データ）

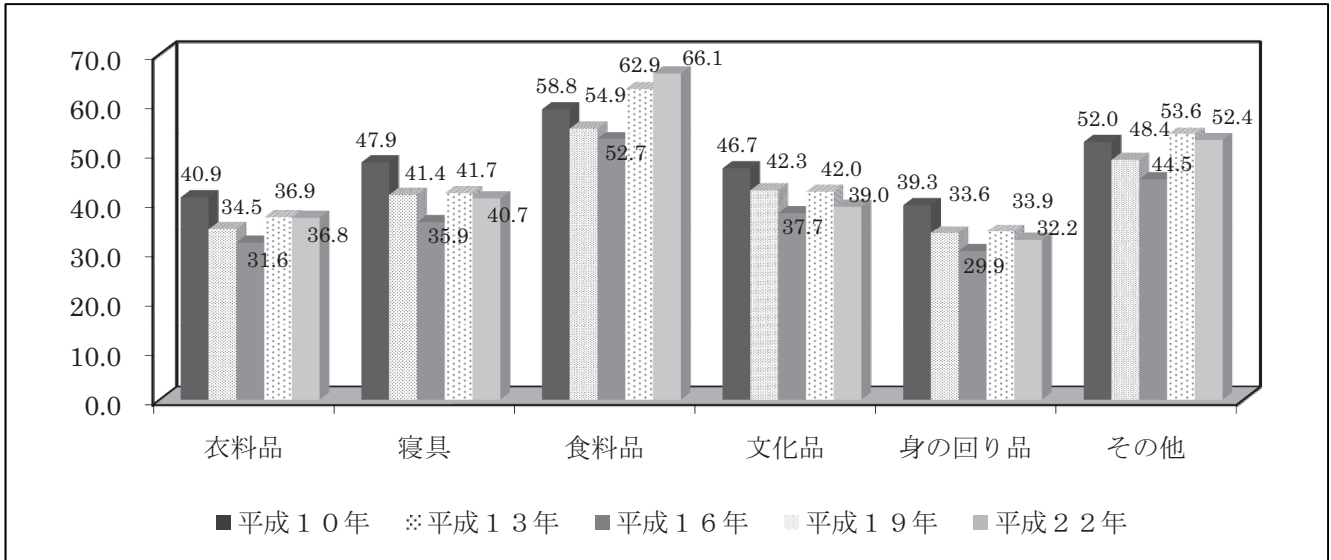


図4-2 品目別地元購買率の推移（旧甲府市除く）（合併後データ）

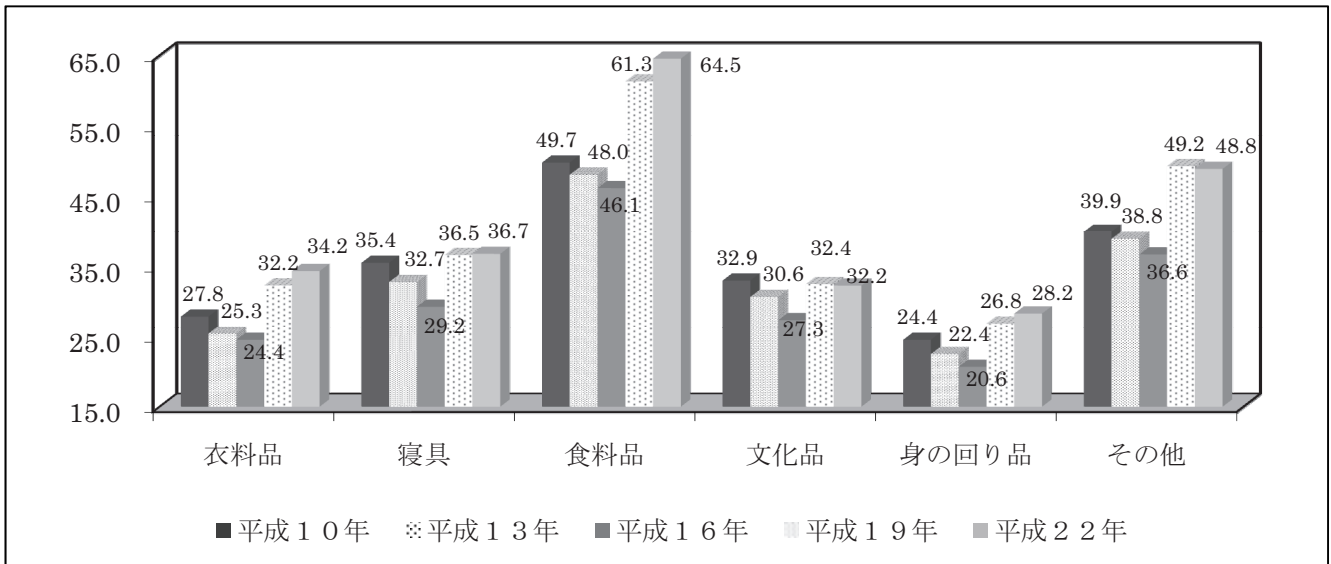
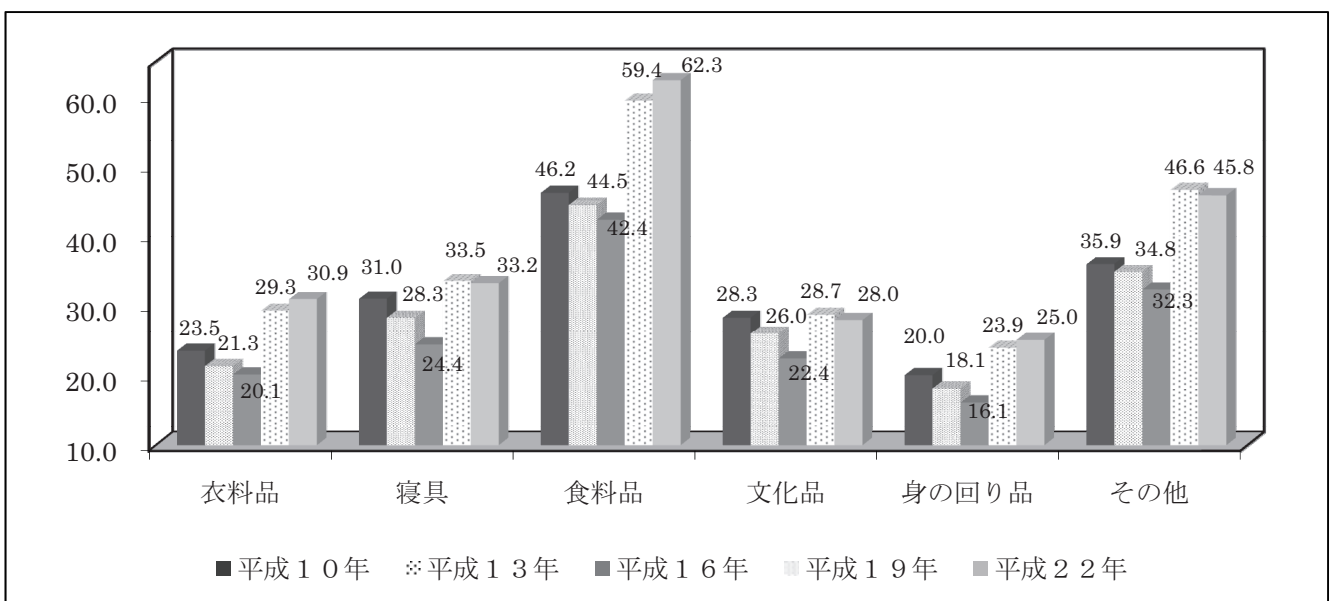


図5-2 品目別地元購買率の推移（旧甲府市・富士吉田市除く）（合併後データ）



(3) 旧甲府市での購買率の推移

① 旧甲府市の地元購買率の推移

旧甲府市における購買率の推移をまとめたものが、表3（P31～32）である。

旧甲府市の地元購買率は、減少基調にあり、前回僅かながら回復（+0.4ポイント）したものの、今回は64.1%と0.9ポイント減少している。

② 旧甲府市での購買率の推移

同様に、表3から旧甲府市における他市町村の購買率の推移をみることができる。

旧甲府市での購買率が、連続して増加している市町村は、富士吉田市、都留市、大月市、旧白根町、旧若草町、旧一宮町、旧芦川村、旧大和村、旧玉穂町、旧六郷町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、旧河口湖町、旧勝山村、旧足和田村の16市町村である。

また、割合では旧芦川村の49.0%の世帯が甲府市で買い物をしている。以下、旧中道町 38.7%、旧石和町 31.6%、旧八代町 26.8%、旧御坂町 24.9%と続く。

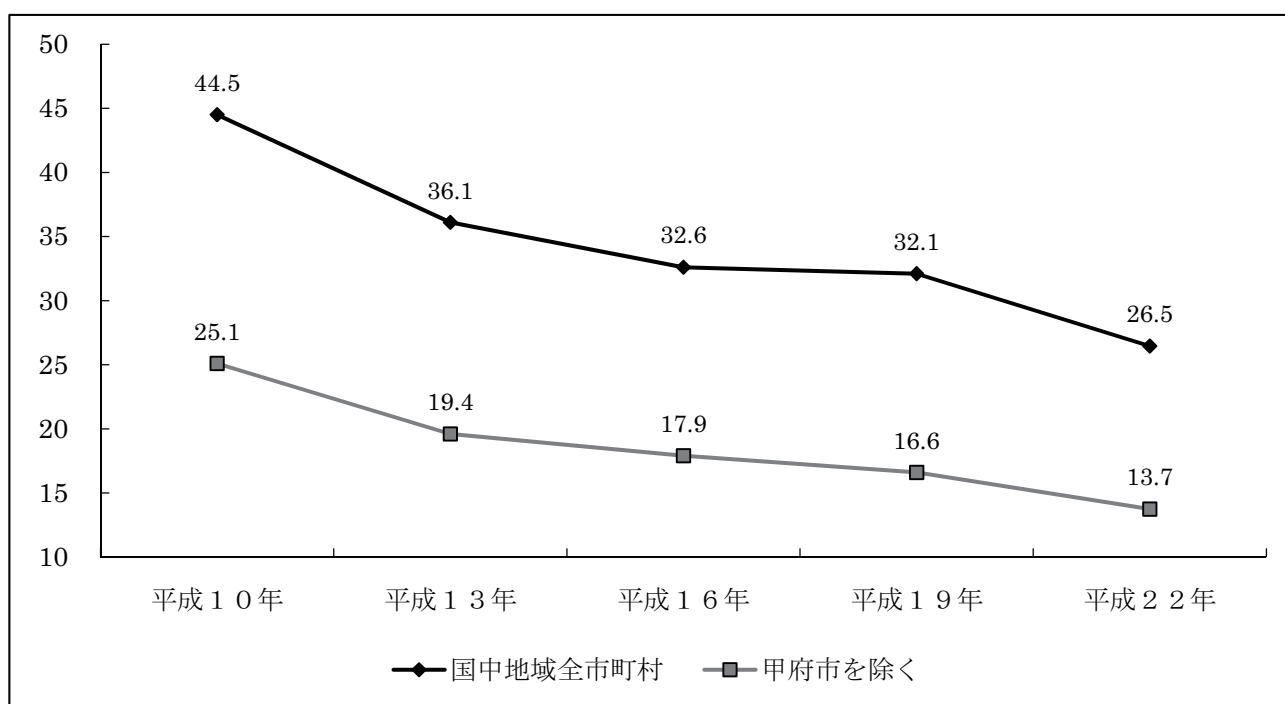
※（旧芦安村、旧境川村はサンプル数による変動幅が大きい為、参考データとしてください）

③ 旧甲府市での購買率の推移（国中地域）

国中地域（富士・東部地区を除く）の市町村における、旧甲府市での購買率の推移をまとめたものが、つぎの図6である。

一貫して減少基調にあるが、前回の減少幅が0.5ポイントであったのに比べ、今回は-5.6ポイント（26.5%）と減少幅が拡大している。また、旧甲府市を除いた地域からの旧甲府市での購買率も2.9ポイントの減少となっている。

図6 旧甲府市での購買率の推移（国中地域）



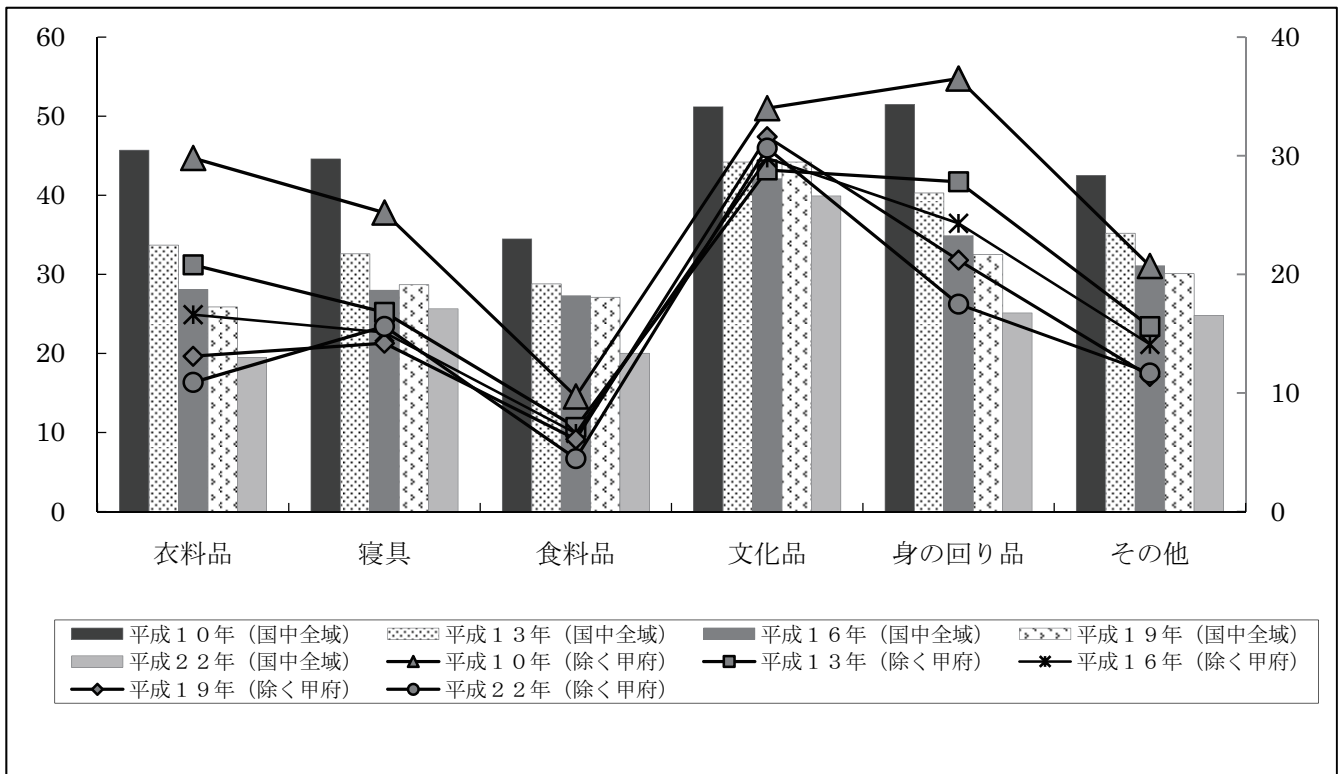
④ 品目別に見た旧甲府市での購買率の推移（国中地域）

品目別に見た旧甲府市での購買率の推移をまとめたものが、つぎの図7である。

国中地域（富士・東部地区を除く）の市町村における、品目別に見た旧甲府市での購買率は、衣料品 19.5%(-6.4ポイント)、寝具 25.7%(-3.0ポイント)、食料品 20.0%(-7.1ポイント)、文化品 39.9%(-4.3ポイント)、身の回り品 25.1%(-7.4ポイント)、その他の品目 24.8% (-5.3ポイント) と全品目で減少している。

旧甲府市を除いた場合では、衣料品 10.9% (-2.2ポイント)、食料品 4.5% (-1.6ポイント)、文化品 30.6% (-1.0ポイント)、身の回り品 17.5% (-3.7ポイント) が減少する一方、寝具 15.6% (+1.4ポイント)、その他 11.7% (+0.3ポイント) については増加している。

図7 品目別旧甲府市での購買率の推移（国中地域）



国中地域全市町村

年度	衣料品	寝具	食料品	文化品	身の回り品	その他
H10年	45.7	44.6	34.5	51.2	51.5	42.5
H13年	33.7	32.6	28.8	44.2	40.3	35.2
H16年	28.1	28.0	27.3	42.1	34.9	31.1
H19年	25.9	28.7	27.1	44.2	32.5	30.1
H22年	19.5	25.7	20.0	39.9	25.1	24.8

旧甲府市を除く

年度	衣料品	寝具	食料品	文化品	身の回り品	その他
H10年	29.8	25.2	9.7	34.0	36.5	20.7
H13年	20.8	16.8	7.1	28.8	27.8	15.6
H16年	16.6	15.1	6.6	29.8	24.3	14.1
H19年	13.1	14.2	6.1	31.6	21.2	11.4
H22年	10.9	15.6	4.5	30.6	17.5	11.7

(4) 富士吉田市での購買率の推移

① 富士吉田市の地元購買率の推移

富士吉田市の地元購買率は表2（P29～30）で見ることができる。

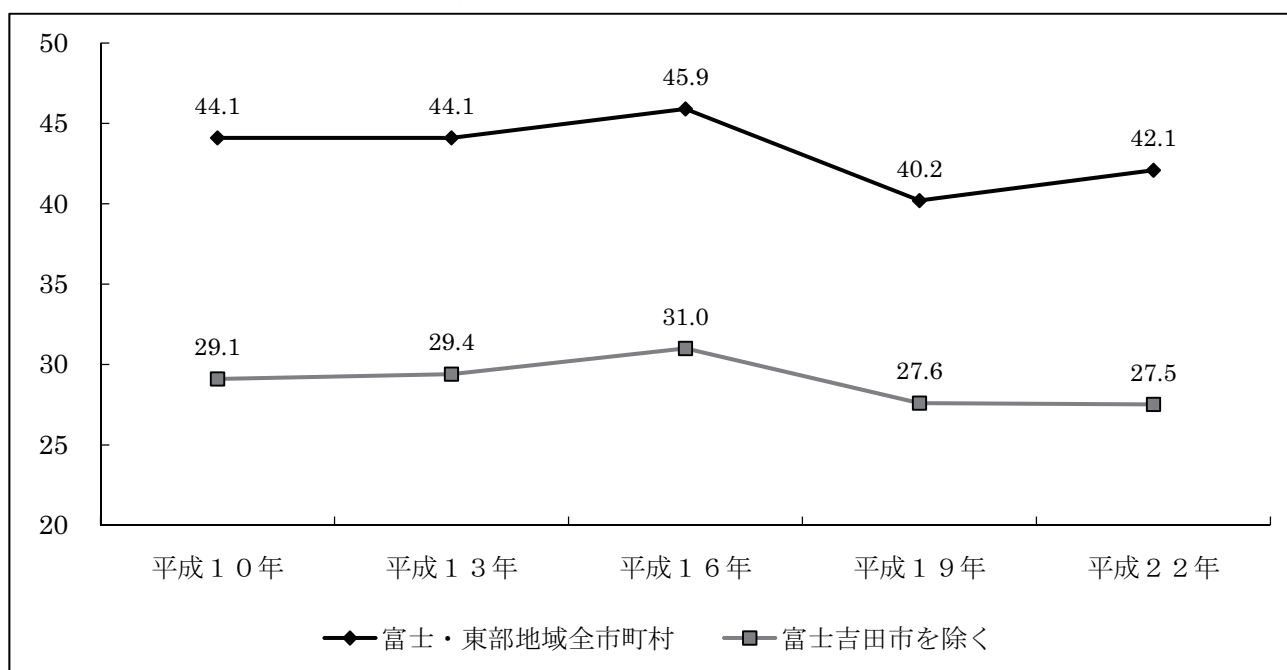
地元購買率は、過去の推移において、平成10年89.4%、平成13年83.8%（-5.6ポイント）、平成16年86.5%（+2.7ポイント）、平成19年77.3（-9.2ポイント）となっているものの、今回78.1%と前回に比べ+0.8ポイントと増加し、下げ止まりの気配がある。

② 富士吉田市での購買率の推移（富士・東部地区）

富士・東部地区（国中地域を除く）の市町村における、富士吉田市での購買率の推移をまとめたものが、つぎの図8である。

富士・東部地区全市町村でみた場合、42.1%となっており、前回調査に比べ1.9ポイントの増加となっている。また富士吉田市を除いた場合においては、27.5%と前回調査に比べほぼ横ばい（-0.1ポイント）となっている。

図8 富士吉田市での購買率の推移（富士・東部地区）



③ 品目別にみた富士吉田市での購買率の推移（富士・東部地区）

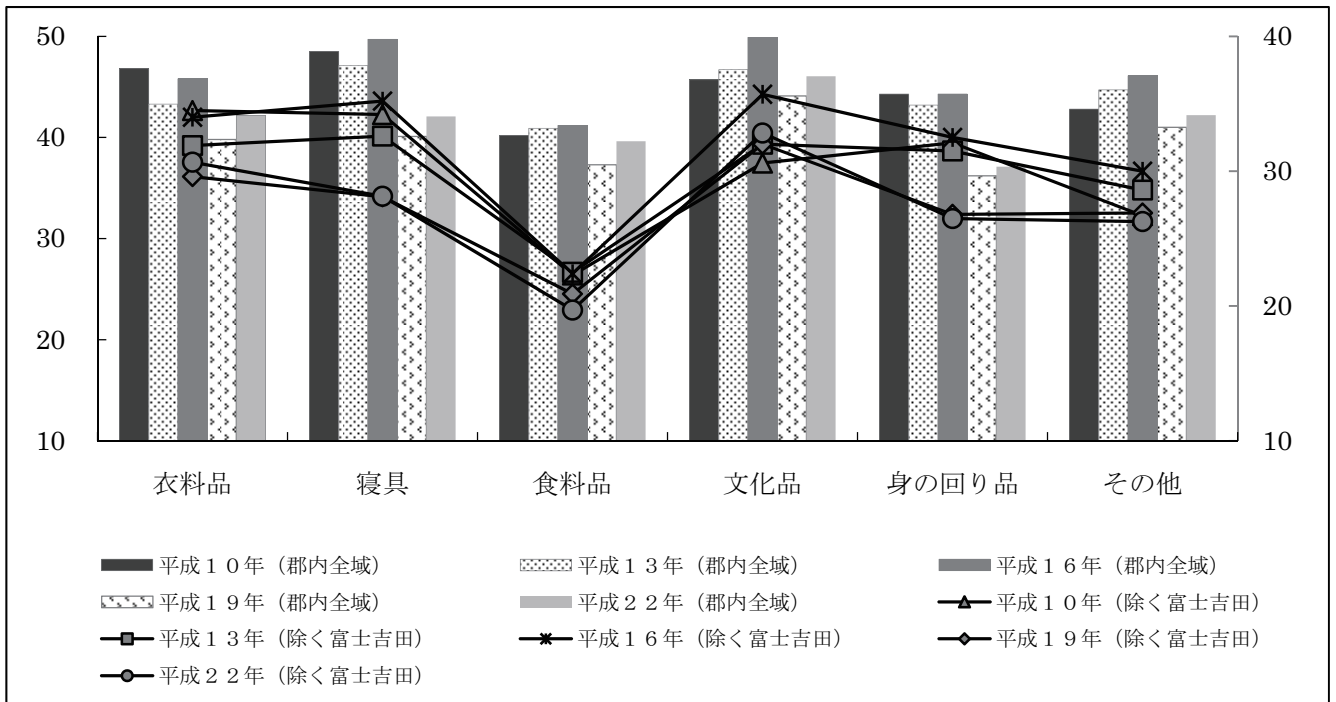
品目別にみた富士吉田市での購買率の推移をまとめたものが、つぎの図9である。

富士・東部地区（国中地域を除く）の市町村における、品目別にみた富士吉田市での購買率の推移は、衣料品42.2%（+2.4ポイント）、寝具42.1%（+2.0ポイント）、食料品39.6%（+2.3ポイント）、文化品46.1%（+2.0ポイント）、身の回り品37.1%（+0.9ポイント）、その他（医薬品・化粧品等）42.2%（+1.2ポイント）と、すべての品目で増加している。全ての品目で減少した前回調査時とは大きく変化している。

富士吉田市を除いた地域からの購買率では、衣料品、文化品で増加、寝具で横ばい、

食料品、身の回り品、その他で減少となっている。

図9 品目別富士吉田市での購買率の推移（富士・東部地区）



富士・東部地区全市町村

年度	衣料品	寝具	食料品	文化品	身の回り品	その他
H10年	46.8	48.5	40.2	45.7	44.3	42.8
H13年	43.3	47.1	40.9	46.7	43.2	44.7
H16年	45.8	49.7	41.2	49.9	44.3	46.1
H19年	39.8	40.1	37.3	44.1	36.2	41.0
H22年	42.2	42.1	39.6	46.1	37.1	42.2

富士吉田市を除く

年度	衣料品	寝具	食料品	文化品	身の回り品	その他
H10年	34.5	34.2	22.3	30.6	32.1	26.7
H13年	31.9	32.6	22.5	32.0	31.5	28.6
H16年	34.0	35.2	22.4	35.7	32.5	30.0
H19年	29.6	28.1	20.9	32.0	26.8	26.9
H22年	30.7	28.1	19.7	32.8	26.5	26.3

4. 商圈の形成状況

県内各市町村の消費者の買い物場所を一覧にしたものが、表4-1（P33～34）である。この表は、縦軸に居住地、横軸に買い物場所が示してある。この表を横に見ていくとその市町村の消費者がどこで買い物するのかその割合が分かり、縦に見ていくと当該市町村に、どこの地区からどのくらいの割合で買い物にきているのかが分かる。

この表から10%以上の部分を分かりやすく表示したのが表4-2（P35～36）である。他の市町村から10%以上流入している市町村について、商圈を形成していると定義す

る。

県内には大きな既存の商圏として、国中地域の旧甲府市商圏と、富士・東部地区の富士吉田市商圏がある。各地区別の商圏は以下のとおりである。

地 区	商 圏
峡 中 地 区	旧甲府市、旧白根市、旧櫛形町、旧田富町、昭和町、旧竜王町（新規）、旧双葉町（新規）、旧玉穂町（新規）
峡 東 地 区	旧塩山市、旧山梨市、旧石和町
峡 南 地 区	旧市川大門町、旧増穂町、旧中富町
峡 北 地 区	韮崎市、旧長坂町
富士・東部地区	富士吉田市、都留市、旧河口湖町、旧上野原町

峡中地区には旧甲府市商圏の他、旧白根町、旧櫛形町、旧田富町、昭和町、旧敷島町、の商圏があったが、今回の調査で旧敷島町には10%以上の流入が無く、商圏という認識から外れた。一方、旧竜王町、旧双葉町、旧玉穂町への流入が増加し、新たな商圏を生み出している。

峡東地区には旧塩山市、旧山梨市、旧石和町の商圏が形成されている。

峡南地区には旧市川大門町、旧増穂町、旧中富町の商圏が形成されている。

峡北地区には韮崎市、旧長坂町の商圏が形成されている。

富士・東部地区には富士吉田市商圏の他、都留市、旧河口湖町、旧上野原町の商圏が形成されている。

さらに、県南部は静岡県、県北部は長野県の商圏、県東部を中心に東京都の商圏に流出している。

5. 利用店舗の状況

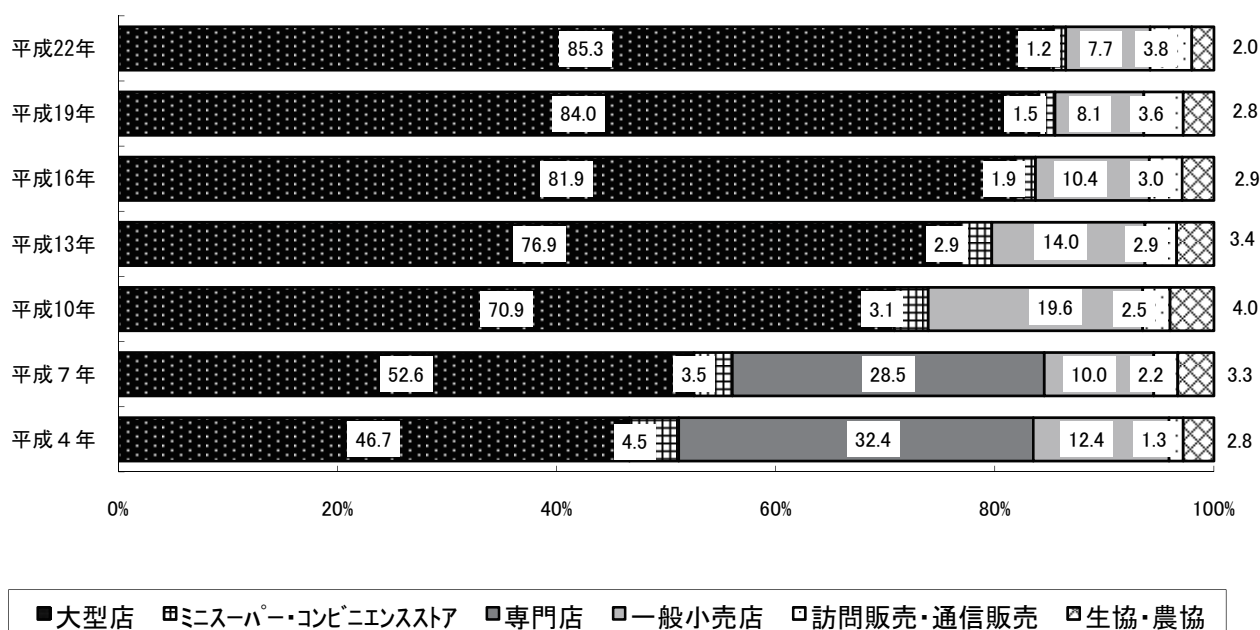
(1) 全品目の利用店舗の推移

全品目の利用店舗の推移を示したものが、つぎの図10である。

今回の調査結果をみると、大型店 85.3%、一般小売店 7.7%、訪問販売・通信販売 3.8%、生協・農協 2.0%、ミニスーパー・コンビニエンスストア 1.2%となっており、大型店での買い物が 1.3ポイント、訪問販売・通信販売が 0.2ポイント伸びているのに対して、一般小売店が 0.4ポイント、ミニスーパー・コンビニエンスストアで 0.3ポイント、生協・農協では 0.8ポイント、それぞれ減少している。

尚、専門店については、平成10年調査時より、選択項目より除外している。

図10 利用店舗の推移（全品目）



(2) 地区別にみた利用店舗の状況

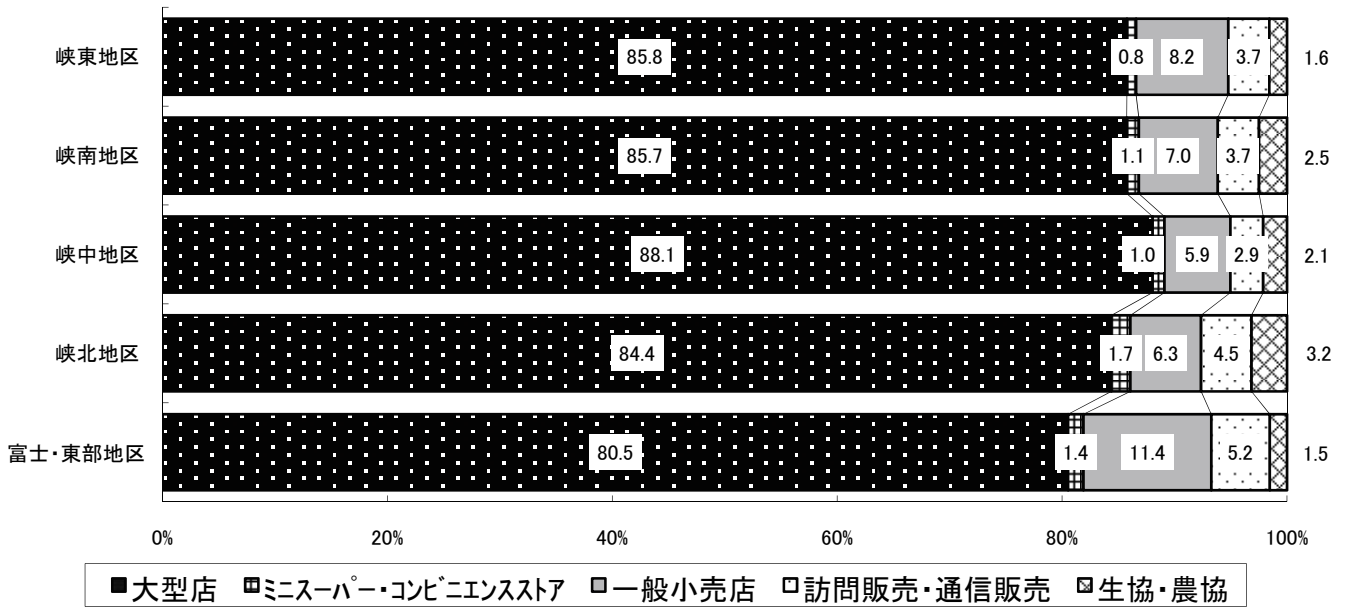
地区別の利用店舗の状況について示したものが、つぎの図11である。

利用店舗状況を地区別にみると、大型店の利用は、峡中地区がもっとも高く 88.1%（前回比+1.0ポイント）、ついで峡東地区 85.8%（+0.8ポイント）、峡南地区 85.7%（+2.1ポイント）、峡北地区 84.4%（+0.4ポイント）、富士・東部地区 80.5%（+1.4ポイント）となっており、大型店での買い物依存度が高くなっていることがわかる。

また、一般小売店をみてみると、峡北地区 6.3%（+0.5ポイント）、峡東地区 8.2%（+0.1ポイント）で増加、富士・東部地区 11.4%（-0.9ポイント）、峡南地区 7.0%（-0.9ポイント）、峡中地区 5.9%（-0.2ポイント）で減少となっている。

特に、ミニスーパー・コンビニエンスストアや生協・農協において、前回調査より減少している状況が伺える。

図 1 1 地区別にみた利用店舗の状況



(3) 品目別にみた利用店舗の状況

品目別にみた利用店舗の推移をまとめたものが、つぎの図 1 2-1 から 1 2-6 である。

衣料品では 90.1% (前回比±0.0ポイント)、寝具 81.4% (+3.4ポイント)、食料品 81.0% (+4.1ポイント)、文化品 84.9% (+0.5ポイント)、その他 (医薬品・化粧品等) 86.1% (+1.0ポイント) と大型店の利用が増加している。身の回り品 86.6% (-0.5ポイント) については大型店の利用が減少し、訪問販売・通信販売が+0.9ポイントと増加している。

図 1 2-1 衣料品利用店舗の推移

<衣料品>

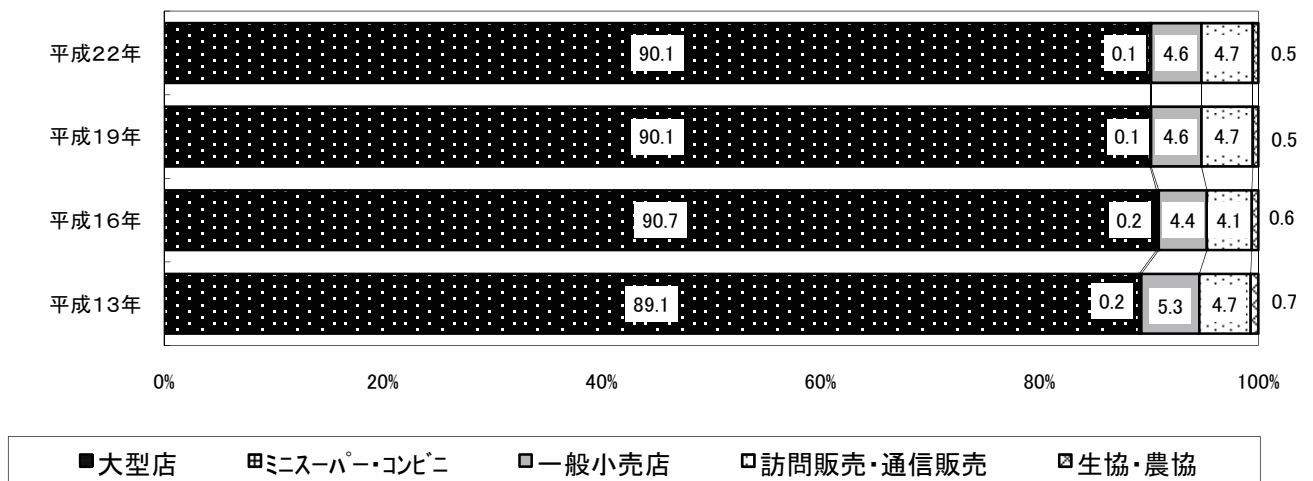


図 1 2-2 寝具利用店舗の推移

<寝具>

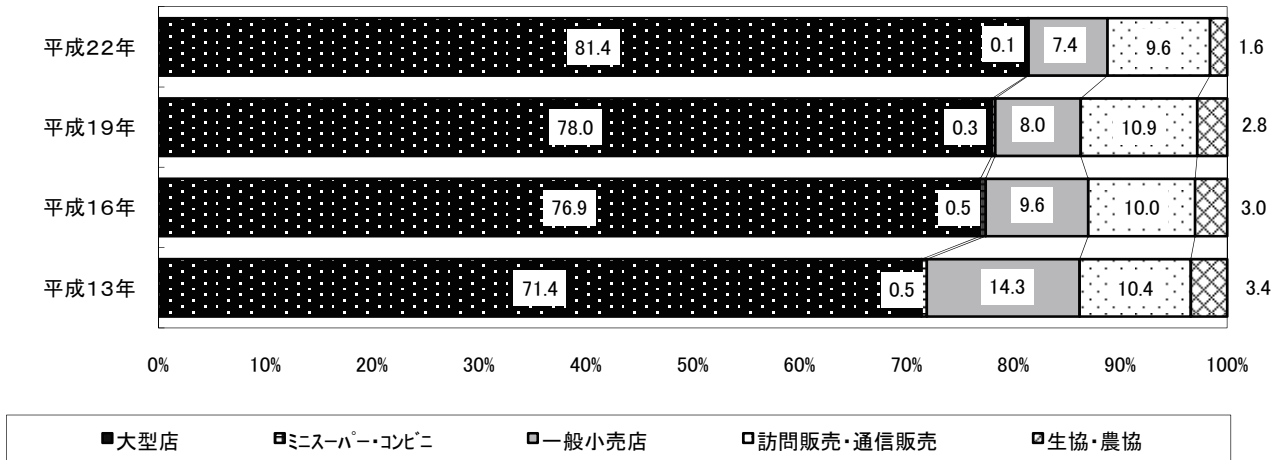


図 1 2-3 食料品利用店舗の推移

<食料品>

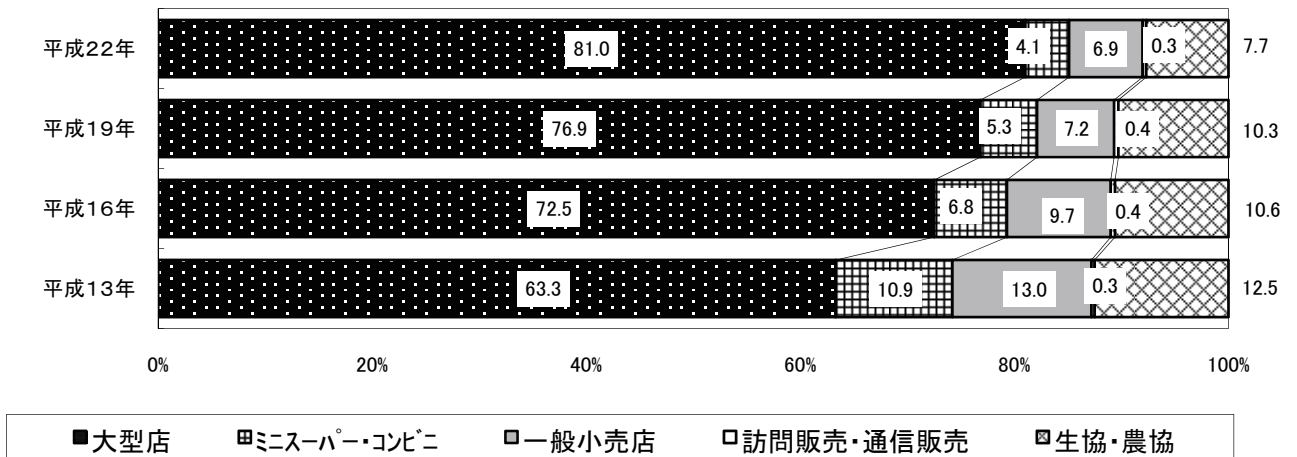


図 1 2-4 文化品利用店舗の推移

<文化品>

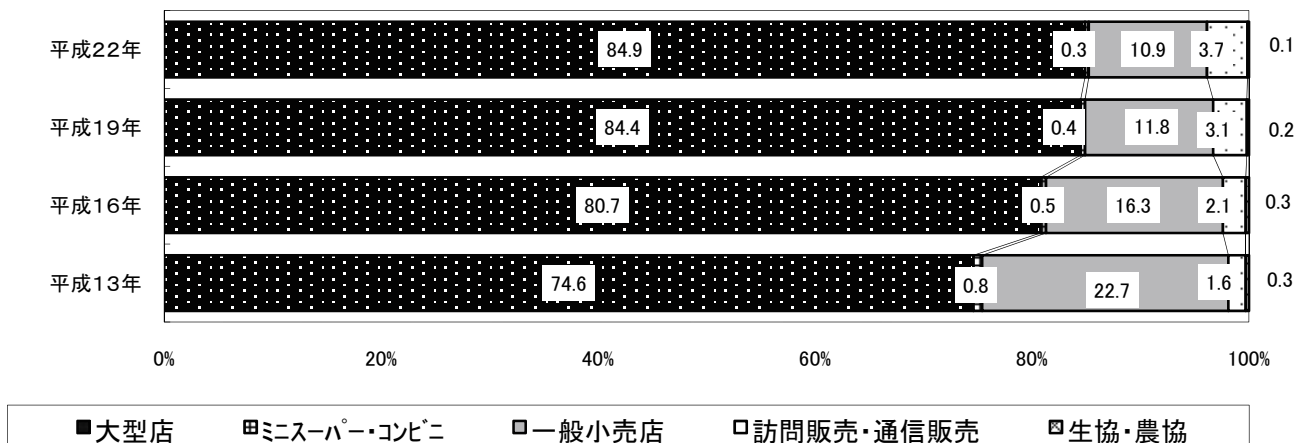


図 1 2-5 身の回り品利用店舗の推移

<身の回り品>

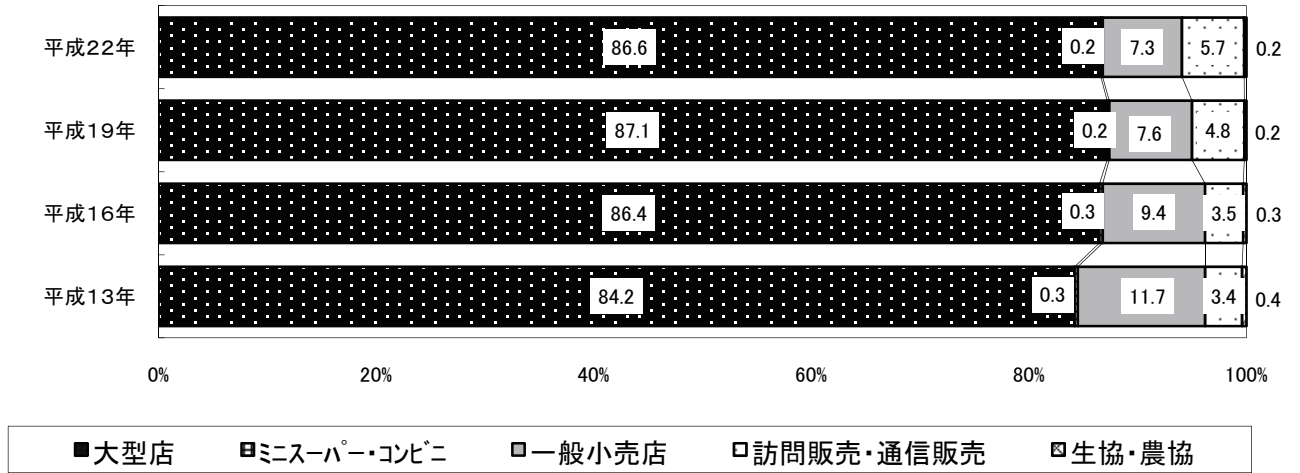
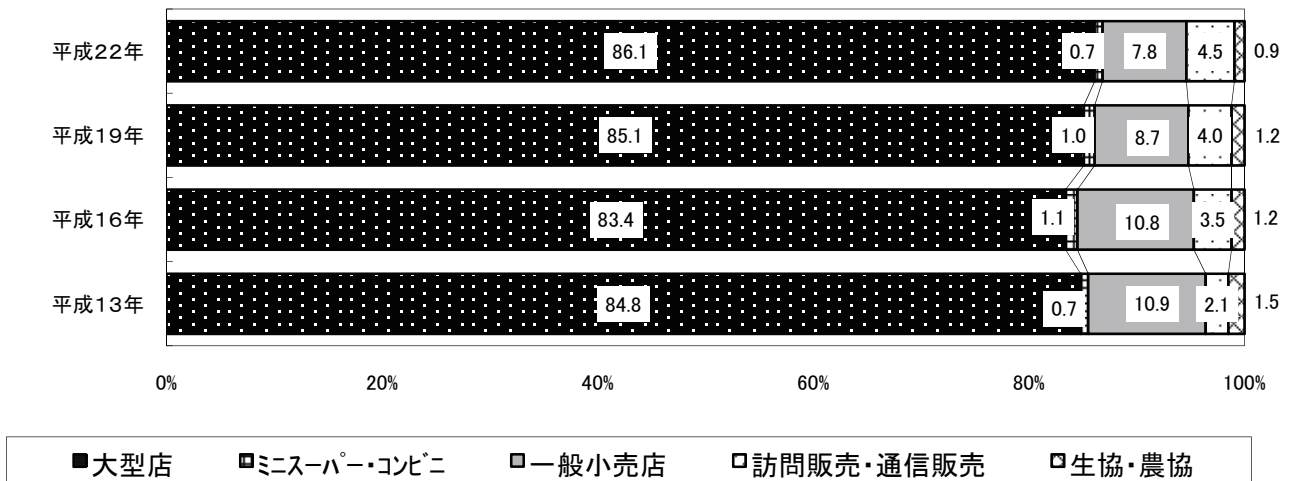


図 1 2-6 その他利用店舗の推移

<その他>



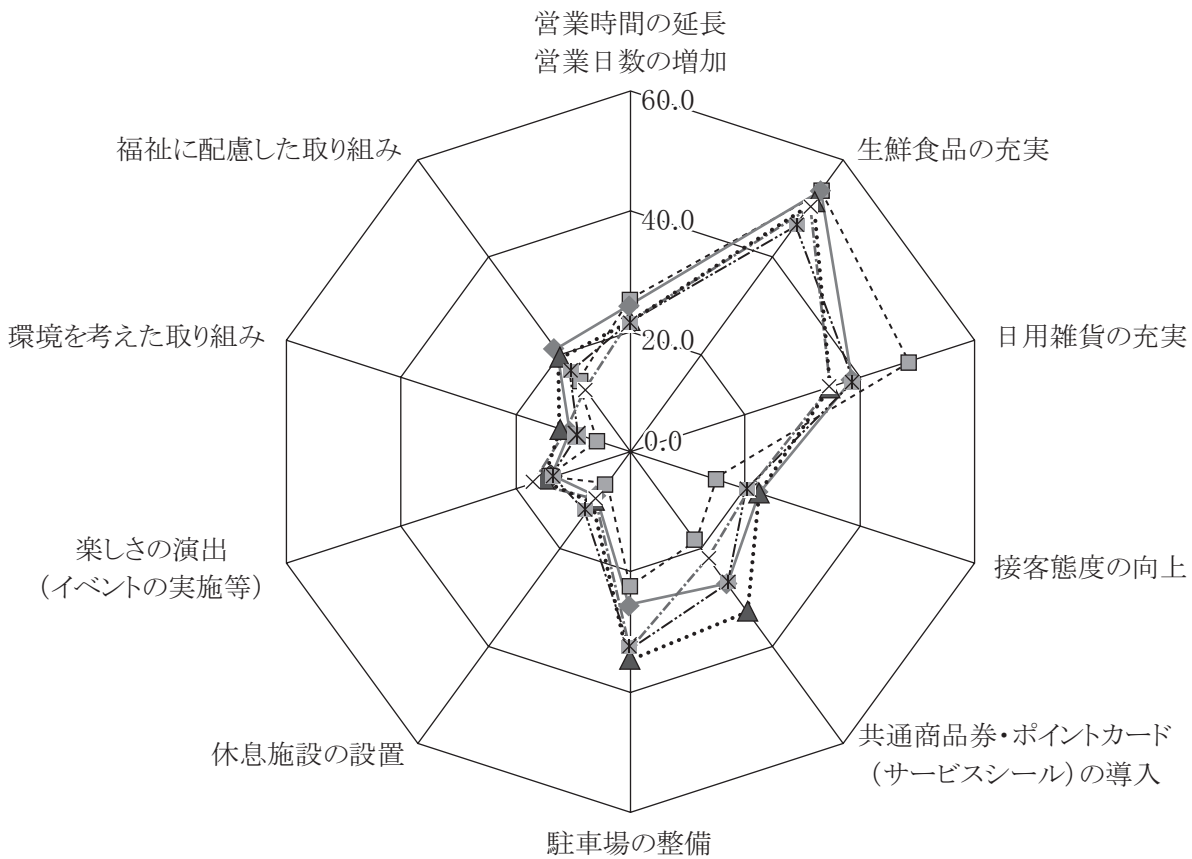
6. 地元の商店・商店街に関する要望

地元の商店・商店街に関する要望の内容をまとめたものが、つぎの図 1 3 である。

県全体では、生鮮食品の充実を望む意見が最も高く 50.8% (前回比-0.4ポイント)、ついで日用雑貨の充実 37.3% (+1.0ポイント)、駐車場の整備 31.7% (-2.8ポイント)、共通商品券・ポイントカードの導入 28.5% (+4.5ポイント) などの順になっている。

(市町村別要望の内容については、資料 4 (P153~155) を参照)

図 1 3 地元の商店・商店街に関する要望

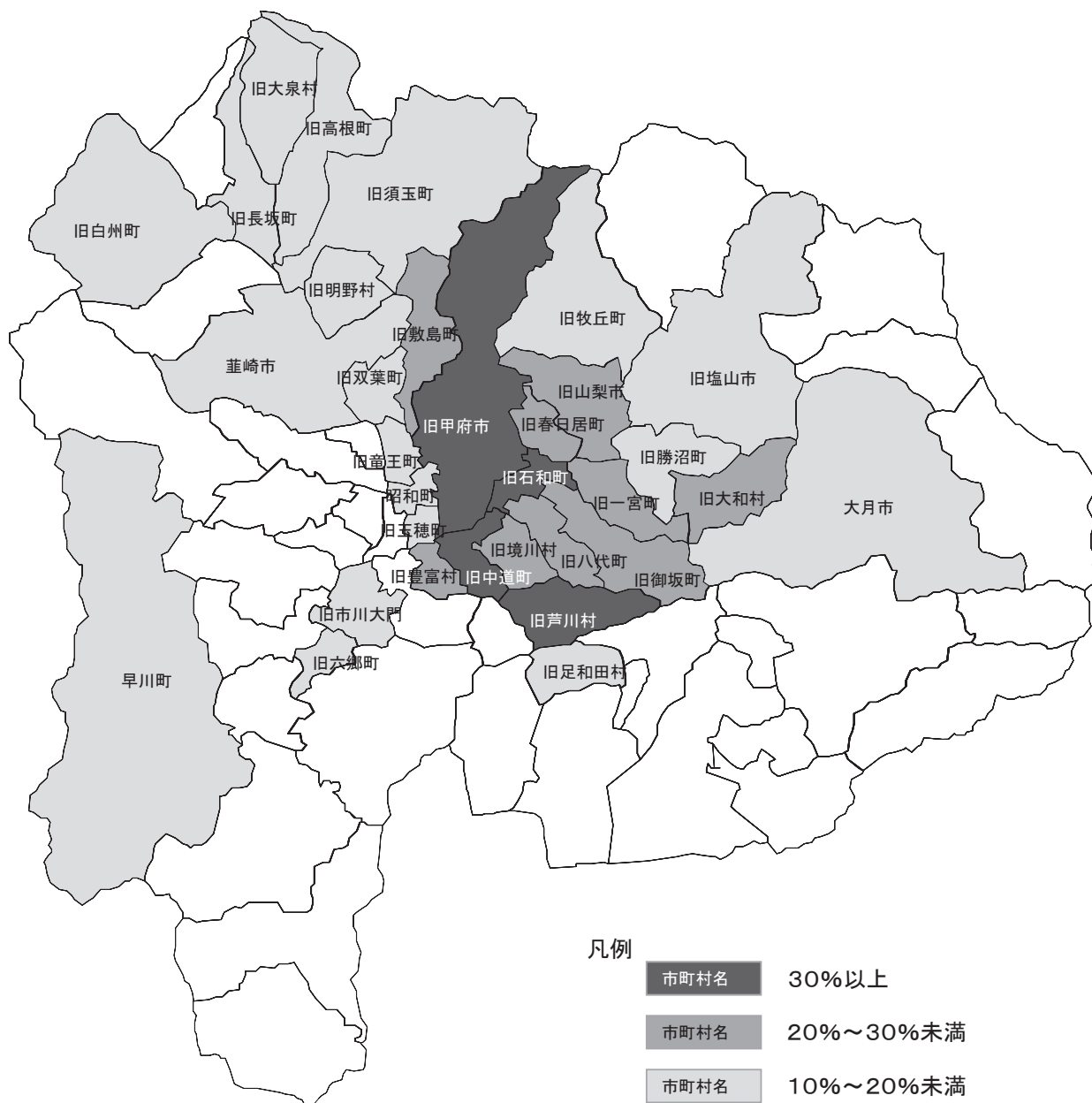


—◆— 峡東地区 - - ■ - - 峡南地区 ...▲... 峡中地区 - - × - - 峡北地区 - - * - - 富士・東部地区

区分	営業日時の増延長	生鮮食品の充実	日用雑貨の充実	接客態度の向上	共通商品券・ポイントカード(サービスシール)の導入	駐車場の整備	休息施設の設置	楽しさの演出(イベントの実施等)	環境を考えた取り組み	福祉に配慮した取り組み	有効回答者数
峡東地区	24.2	53.6	38.4	22.3	27.4	25.9	9.3	13.6	10.2	21.1	1,121
峡南地区	25.3	53.7	48.2	14.9	18.2	22.5	6.3	13.9	5.9	14.5	510
峡中地区	22.0	51.7	34.6	22.3	33.0	34.7	10.0	14.8	12.1	19.6	2,860
峡北地区	21.4	50.5	35.0	20.9	22.2	32.4	9.5	16.8	11.1	12.9	695
富士・東部地区	21.3	46.7	38.7	20.2	27.2	32.9	12.2	13.3	9.1	16.8	1,712
県合計	22.4	50.8	37.3	21.1	28.5	31.7	10.1	14.4	10.5	18.1	6,898

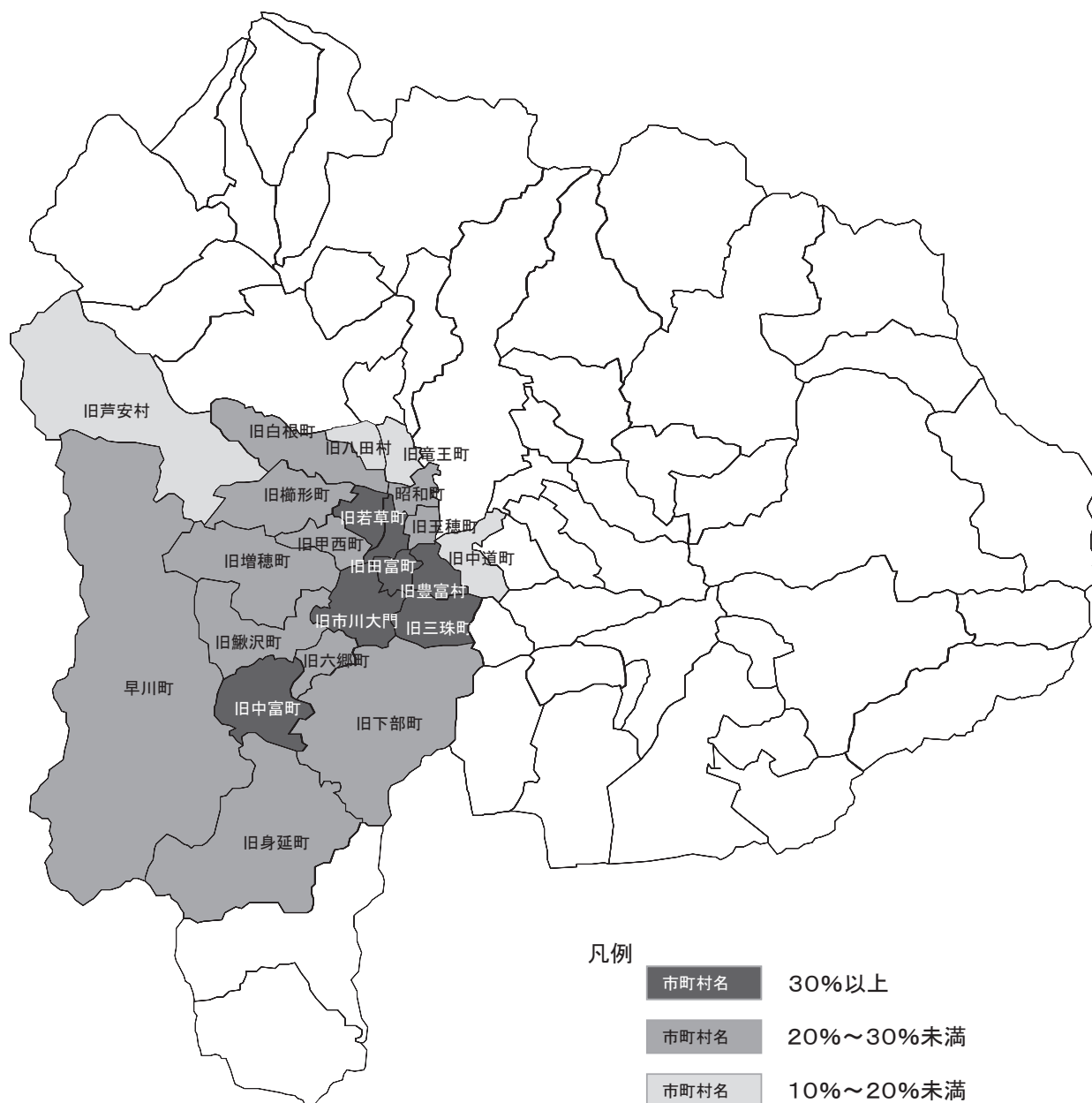
(単位：有効回答者数=数値、それ以外=%)

図14 平成22年度 旧甲府市商圈



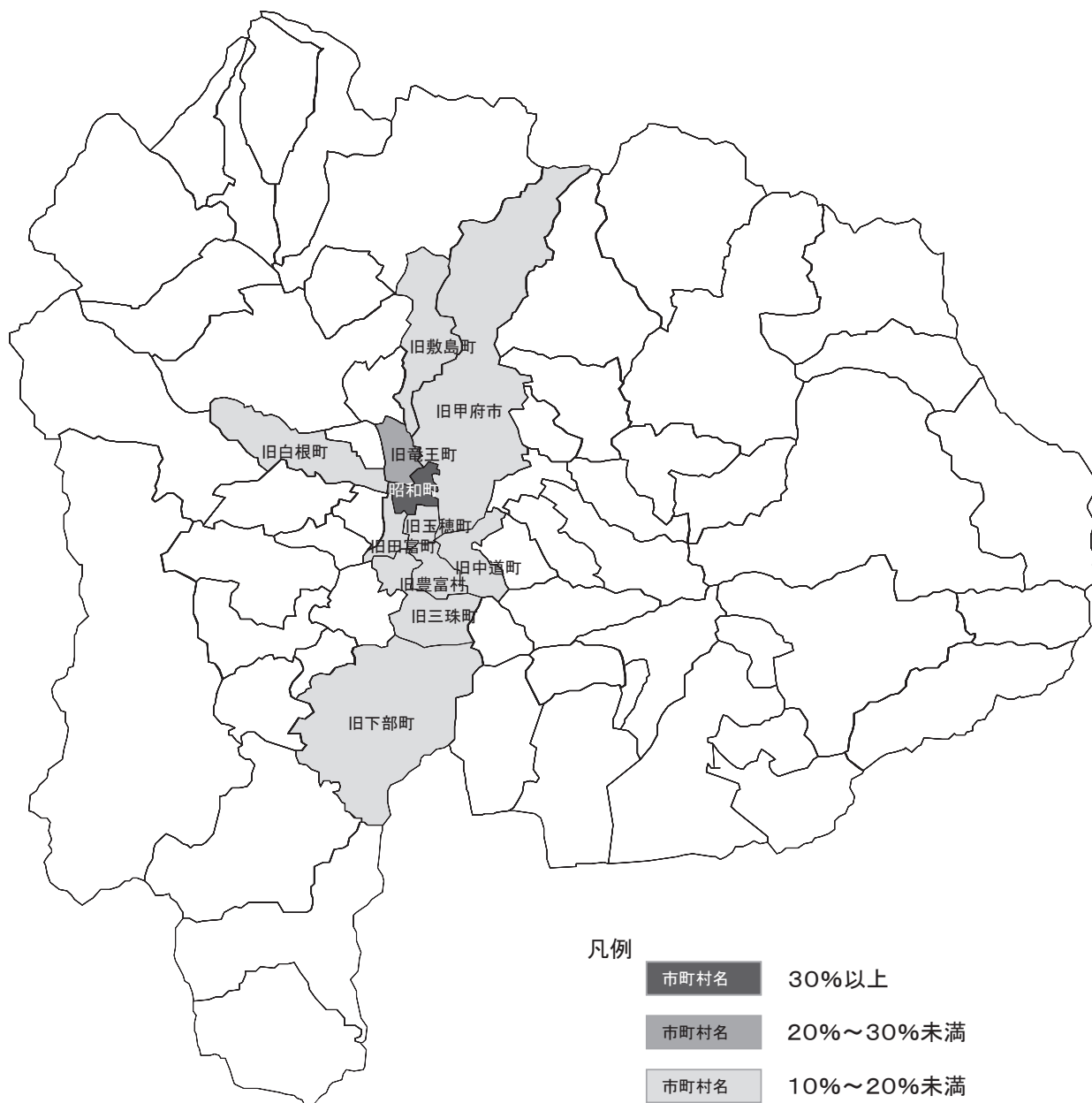
※ 白地部分については、「資料5 山梨県全域地図」を参照。

図15 平成22年度 旧田富町商圈



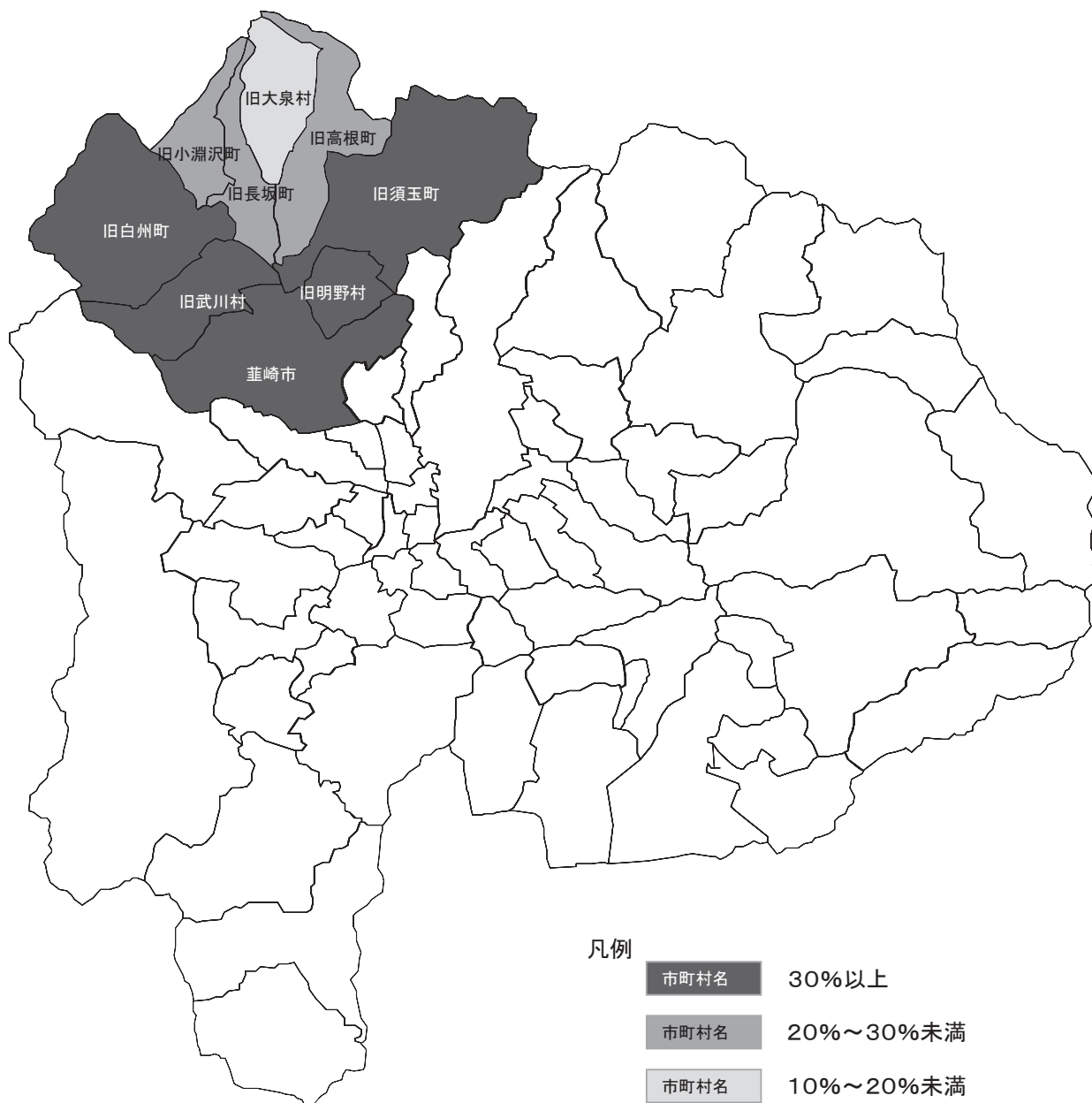
※ 白地部分については、「資料 5 山梨県全域地図」を参照。

図16 平成22年度 昭和町商圈



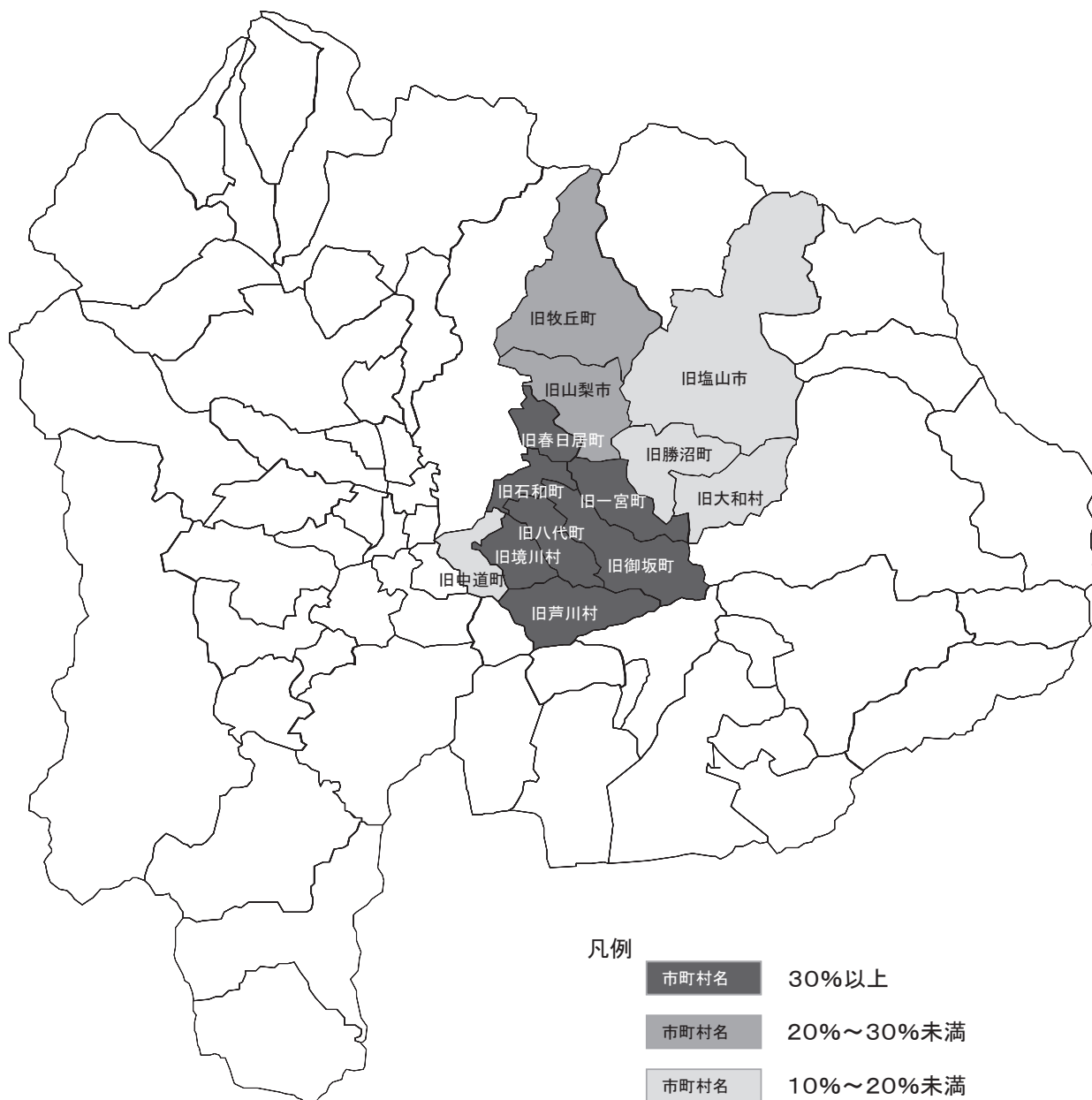
※ 白地部分については、「資料5 山梨県全域地図」を参照。

図17 平成22年度 韮崎市商圈



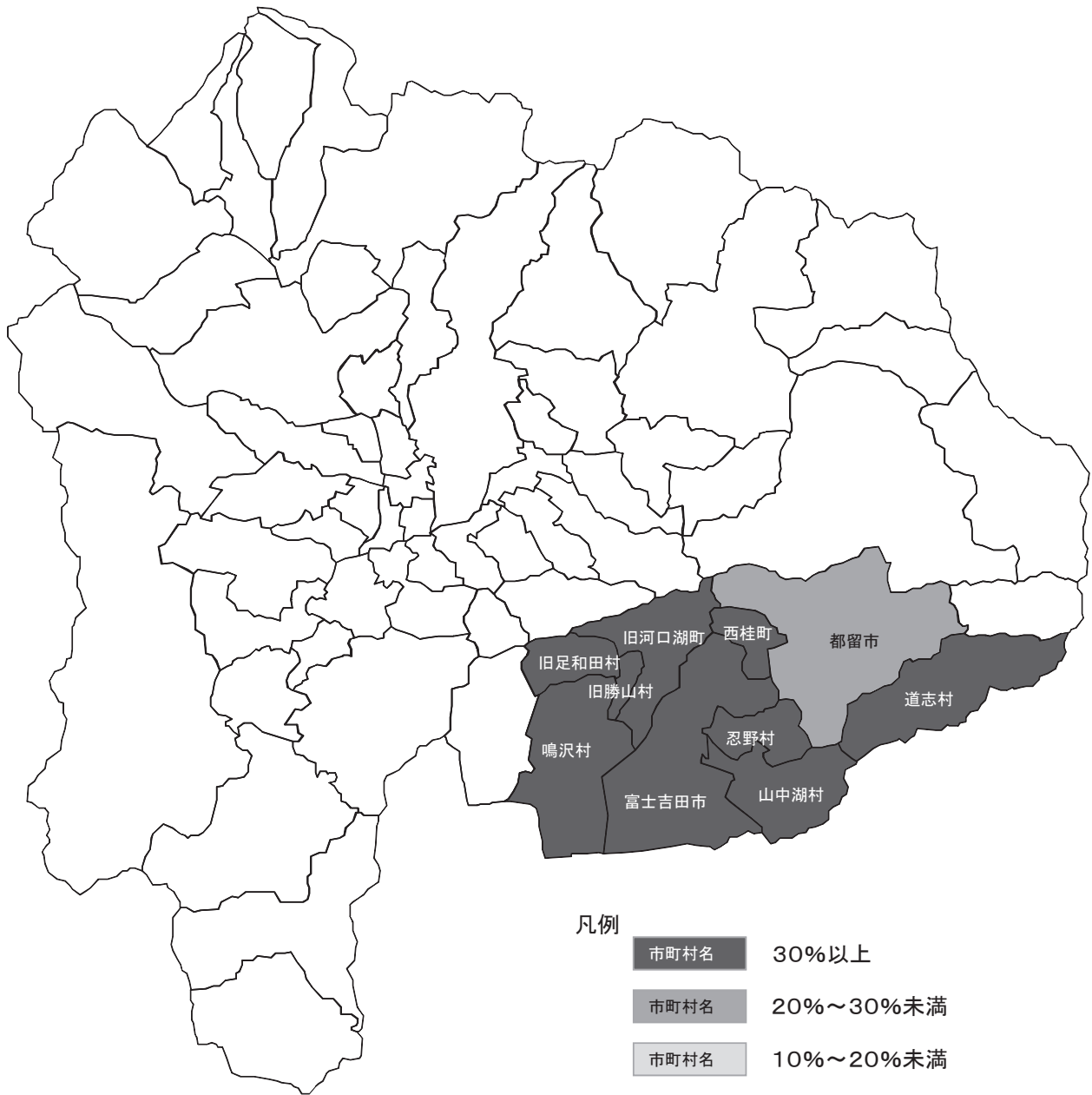
※ 白地部分については、「資料5 山梨県全域地図」を参照。

図18 平成22年度 旧石和町商圈



※ 白地部分については、「資料5 山梨県全域地図」を参照。

図19 平成22年度 富士吉田市商圈



※ 白地部分については、「資料5 山梨県全域地図」を参照。

表1. 買い物場所とその推移

(単位:%)

市町村名	平成7年	平成10年	平成13年	平成16年	平成19年	平成22年	増減	傾向	
甲府市	旧 甲 府 市	34.6	28.9	24.2	23.4	21.8	23.0	1.2	○
	旧 中 道 町	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	上 九 一 色 村					0.0	0.0	0.0	
					※ 21.8	23.0	1.2		
富士吉田市	8.5	12.5	11.9	12.2	11.1	10.2	-0.9	×	
都留市	3.2	3.1	3.4	3.5	4.1	3.7	-0.4	△	
山梨市	旧 山 梨 市	3.0	2.9	2.5	2.6	1.9	1.8	-0.1	×
	旧 牧 丘 町	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	旧 三 富 村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					※ 2.0	1.8	-0.1		
大月市	1.9	2.0	1.9	1.6	1.3	1.0	-0.3	×	
韮崎市	5.1	4.8	4.6	3.6	3.4	3.9	0.5	○	
南アルプス市	旧 八 田 村	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	
	旧 白 根 町	1.4	1.6	1.3	1.1	1.6	1.5	-0.1	△
	旧 芦 安 村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	旧 若 草 町	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	
	旧 櫛 形 町	2.8	3.4	2.0	2.7	3.6	3.3	-0.3	△
	旧 甲 西 町	0.5	0.6	1.2	1.0	1.0	1.0	0.0	
			(4.8)	5.1	※ 6.4	6.0	-0.4	△	
北杜市	旧 明 野 村	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	旧 須 玉 町	0.3	0.2	0.5	0.4	0.3	0.2	-0.1	×
	旧 高 根 町	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	
	旧 長 坂 町	0.9	0.6	1.1	1.2	1.1	1.0	-0.1	×
	旧 大 泉 村	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	
	旧 白 洲 町	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
	旧 武 川 村	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	旧 小 淵 沢 町	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	
				(2.1)	※ 1.7	1.6	-0.1	×	
甲斐市	旧 竜 王 町	2.4	3.1	2.7	2.8	2.9	3.3	0.4	◎
	旧 敷 島 町	0.9	1.2	1.1	1.3	1.3	1.6	0.3	○
	旧 双 葉 町	0.1	0.1	0.3	0.8	0.9	3.5	2.6	◎
					※ 5.0	8.3	3.2		
笛吹市	旧 春 日 居 町	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	
	旧 石 和 町	4.5	4.7	4.7	4.7	6.2	6.1	-0.1	△
	旧 御 坂 町	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	-0.1	×
	旧 一 宮 町	0.3	0.8	1.0	0.9	0.7	0.4	-0.3	×
	旧 八 代 町	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	-0.1	×
	旧 境 川 村	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	-0.1	△
	旧 芦 川 村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					※ 7.9	7.3	-0.6		
上野原市	旧 上 野 原 町	1.4	1.7	1.4	1.3	0.9	0.9	0.0	
	旧 秋 山 村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					※ 0.9	0.9	0.0		

表1. 買い物場所とその推移

(単位:%)

市町村名	平成7年	平成10年	平成13年	平成16年	平成19年	平成22年	増減	傾向	
甲州市	旧塩山市	3.3	3.2	3.4	3.4	3.6	3.8	0.2	◎
	旧勝沼町	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	
	旧大和村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					※ 3.8	3.9	0.2		
中央市	旧玉穂町	0.8	1.3	0.6	0.5	0.4	2.4	2.0	○
	旧田富町	5.3	6.0	10.0	9.5	9.7	8.3	-1.4	△
	旧豊富村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					※ 10.2	10.7	0.6		
市川三郷町	旧三珠町	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	旧市川大門町	0.8	0.7	0.6	0.6	0.4	0.3	-0.1	×
	旧六郷町	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	
					※ 0.6	0.4	-0.1		
富士川町	旧増穂町	1.2	1.2	1.1	0.9	0.9	0.9	0.0	
	旧鰯沢町	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	
						0.9	0.9		
早川町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
身延町	旧下部町	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	旧中富町	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	○
	旧身延町	0.6	0.5	0.5	0.3	0.4	0.2	-0.2	△
					※ 0.7	0.6	0.2		
南部町	旧南部町	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	-0.1	×
	旧富沢町	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	
			(0.3)	(0.3)	※ 0.3	0.2	-0.1	×	
昭和町	4.5	4.7	8.1	10.3	10.2	8.6	-1.6	×	
道志村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西桂町	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0		
忍野村	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.0		
山中湖村	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0		
鳴沢村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
富士河口湖町	旧河口湖町	3.1	2.1	2.2	2.1	2.5	2.2	-0.3	△
	旧勝山村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	旧足和田村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	旧上九一色村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			(2.2)	(2.1)	※ 2.5	2.2	-0.3	△	
小菅村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
丹波山村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
東京都	2.8	3.1	3.1	2.9	2.9	2.8	-0.1	×	
神奈川県		0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	-0.1	△	
静岡県	1.0	0.8	1.0	1.1	1.1	1.0	-0.1	×	
長野県		0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.0		

類型は次のとおり

H19 (対H16)	H22 (対H19)	類型
+	+	◎
- or ±0	+	○
+	-	△
- or ±0	-	×

※合併市町村の購買率は、広域に亘るため、備考としてお考え下さい。

表2. 地元市町村での購買率

(単位:%)

市町村名	平成7年	平成10年	平成13年	平成16年	平成19年	平成22年	増減	傾向	
甲府市	旧 甲 府 市	86.8	83.7	71.7	64.6	65.0	64.1	-0.9	△
	旧 中 道 町	14.7	7.4	3.0	1.7	0.8	0.0	-0.8	×
	上 九 一 色 村					0.0	0.0	0.0	
					※ 62.2	63.1	0.9		
富士吉田市	68.5	89.4	83.8	86.5	77.3	78.1	0.8	○	
都留市	48.0	44.6	44.2	42.9	47.1	50.1	3.0	◎	
山梨市	旧 山 梨 市	44.2	41.7	36.6	31.8	28.8	25.1	-3.7	×
	旧 牧 丘 町	10.0	3.9	2.4	1.4	0.9	0.2	-0.7	×
	旧 三 富 村	1.0	0.5	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
					※ 27.6	23.6	-4.0		
大月市	43.8	39.7	35.4	33.0	26.9	24.3	-2.6	×	
韮崎市	53.9	50.0	46.4	42.2	36.9	44.6	7.7	○	
南アルプス市	旧 八 田 村	12.8	8.8	11.0	9.1	7.3	3.8	-3.5	×
	旧 白 根 町	33.5	29.8	25.2	20.7	20.9	23.3	2.4	◎
	旧 芦 安 村	1.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	旧 若 草 町	8.9	8.5	4.8	2.5	3.5	2.0	-1.5	△
	旧 櫛 形 町	49.1	48.1	37.0	40.2	37.4	38.4	1.0	○
	旧 甲 西 町	21.2	23.8	25.8	25.3	19.8	20.6	0.8	○
			(41.1)	44.4	※ 45.3	42.7	-2.6	△	
北杜市	旧 明 野 村	10.2	8.5	5.0	2.0	2.4	1.1	-1.3	△
	旧 須 玉 町	28.5	21.7	23.7	19.4	16.7	15.0	-1.7	×
	旧 高 根 町	20.3	16.5	11.1	10.0	7.1	6.1	-1.0	×
	旧 長 坂 町	36.0	32.4	34.9	34.5	30.3	28.1	-2.2	×
	旧 大 泉 村	19.4	15.4	9.1	11.1	11.1	13.0	1.9	○
	旧 白 洲 町	10.9	7.0	7.9	10.4	8.9	7.4	-1.5	×
	旧 武 川 村	18.9	16.9	9.9	8.0	3.7	3.0	-0.7	×
	旧 小 淵 沢 町	17.3	16.3	14.0	9.1	7.0	12.4	5.4	○
					※ 31.7	27.3	-4.4		
甲斐市	旧 竜 王 町	34.3	36.3	32.0	28.8	25.9	31.3	5.4	○
	旧 敷 島 町	29.5	27.9	27.9	29.5	27.9	31.3	3.4	○
	旧 双 葉 町	9.9	3.9	13.4	22.0	23.8	40.6	16.8	◎
					※ 36.9	49.2	12.3		
吹笛市	旧 春 日 居 町	14.0	16.2	20.1	17.6	17.5	14.2	-3.3	×
	旧 石 和 町	50.4	48.6	48.8	45.3	53.3	53.0	-0.3	△
	旧 御 坂 町	21.0	15.9	14.6	18.9	18.7	16.3	-2.4	×
	旧 一 宮 町	14.3	28.7	25.0	24.5	19.6	16.9	-2.7	×
	旧 八 代 町	16.4	14.4	11.1	9.1	4.8	6.4	1.6	○
	旧 境 川 村	10.1	7.2	4.9	4.4	0.0	16.6	16.6	○
	旧 芦 川 村	3.4	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					※ 60.9	59.7	-1.2		
上野原市	旧 上 野 原 町	48.8	43.7	39.5	35.7	26.7	30.3	3.6	○
	旧 秋 山 村	11.0	7.0	6.6	3.1	1.5	0.7	-0.8	×
					※ 26.2	29.1	2.9		

表2. 地元市町村での購買率

(単位:%)

市町村名	平成7年	平成10年	平成13年	平成16年	平成19年	平成22年	増減	傾向	
甲州市	旧塩山市	51.2	49.0	49.3	49.4	48.4	51.7	3.3	○
	旧勝沼町	19.2	14.3	12.1	7.7	6.0	4.3	-1.7	×
	旧大和村	8.4	7.8	3.3	3.2	0.0	1.9	1.9	○
					※ 46.9	49.0	2.1		
中央市	旧玉穂町	26.0	28.7	21.0	16.8	12.8	33.0	20.2	○
	旧田富町	49.9	50.2	53.0	48.2	49.1	54.1	5.0	◎
	旧豊富村	11.5	10.2	6.6	4.9	0.0	0.0	0.0	
					※ 51.0	64.8	13.8		
市川三郷町	旧三珠町	7.0	1.1	2.0	0.9	1.6	0.5	-1.1	△
	旧市川大門町	36.2	30.6	29.4	24.0	20.8	16.7	-4.1	×
	旧六郷町	29.4	19.9	15.7	12.1	10.5	8.5	-2.0	×
					※ 19.2	15.2	-4.0		
富士川町	旧増穂町	40.6	37.5	32.9	28.9	28.8	25.7	-3.1	×
	旧鰯沢町	21.7	20.9	9.6	6.3	6.5	4.3	-2.2	△
						27.5	-		
早川町	2.8	1.9	2.0	0.3	0.5	0.6	0.1	◎	
身延町	旧下部町	17.9	9.5	5.5	5.2	1.6	2.2	0.6	○
	旧中富町	10.6	6.6	7.0	5.8	17.1	16.3	-0.8	△
	旧身延町	38.4	33.9	34.7	26.0	21.2	13.6	-7.6	×
					※ 26.3	21.3	-5.0		
南部町	旧南部町	36.0	30.7	22.5	19.2	16.1	15.9	-0.2	×
	旧富沢町	19.2	22.1	15.8	15.6	0.0	12.1	12.1	○
					※ 23.1	17.0	-6.1		
昭和町	44.6	40.7	44.9	38.3	45.1	40.8	-4.3	△	
道志村	11.1	6.1	4.4	2.5	2.4	0.7	-1.7	×	
西桂町	20.6	8.3	5.6	5.1	3.2	2.1	-1.1	×	
忍野村	25.0	16.0	16.6	14.0	14.5	15.5	1.0	◎	
山中湖村	15.7	11.1	8.0	5.8	4.9	6.6	1.7	○	
鳴沢村	4.9	3.7	3.7	1.5	1.5	1.1	-0.4	×	
富士河口湖町	旧河口湖町	49.9	43.6	45.3	41.0	40.2	41.1	0.9	○
	旧勝山村	7.4	4.3	2.0	0.8	0.4	0.5	0.1	○
	旧足和田村	0.0	0.7	4.5	0.8	0.2	0.0	-0.2	×
	旧上九一色村	6.5	4.4	3.6	2.0	0.0	0.0	0.0	
			(45.6)	41.7	※ 40.4	40.9	0.5	×	
小菅村	26.2	15.6	2.3	8.6	10.4	5.6	-4.8	△	
丹波山村	28.7	17.8	20.4	6.7	11.3	1.8	-9.5	△	

類型は次のとおり

H19 (対H16)	H22 (対H19)	類型
+	+	◎
- or ±0	+	○
+	-	△
- or ±0	-	×

※合併市町村の購買率は、広域に亘るため、備考としてお考え下さい。

なお、富士河口湖町の平成13年・平成16年のデータは上九一色村を含まない。

表3. 旧甲府市における購買率(各市町村の人が甲府で買い物をする割合)

(単位:%)

市町村名		平成7年	平成10年	平成13年	平成16年	平成19年	平成22年	増減	傾向
甲府市	旧甲府市	86.8	83.7	71.7	64.6	65.0	64.1	-0.9	△
	旧中道市	58.0	63.7	54.2	41.2	32.6	38.7	6.1	○
	旧上九一色村					0.0	0.0	0.0	
					※ 62.2	63.1	0.9		
富士吉田市		5.0	3.5	6.3	5.8	9.5	9.7	0.2	◎
都留市		3.7	4.1	5.7	7.4	9.2	9.9	0.7	◎
山梨市	旧山梨市	24.0	21.4	19.0	20.5	19.7	22.9	3.2	○
	旧牧丘町	11.1	18.3	15.0	15.7	13.8	18.3	4.5	○
	旧三富村	5.7	15.0	16.4	13.2	8.4	0.0	-8.4	×
					※ 18.5	22.1	3.6		
大月市		8.2	9.1	12.4	15.6	17.0	17.3	0.3	◎
韮崎市		34.5	31.9	21.8	18.1	15.1	11.6	-3.5	×
南アルプス市	旧八田村	24.1	20.9	13.1	8.6	11.3	9.7	-1.6	△
	旧白根町	24.7	16.1	11.9	8.7	9.1	9.8	0.7	◎
	旧芦安村	13.1	7.4	5.4	4.4	57.9	4.2	-53.7	△
	旧若草町	14.8	11.5	7.9	7.0	7.4	7.9	0.5	◎
	旧櫛形町	16.0	15.1	11.0	8.8	11.0	8.8	-2.2	△
	旧甲西町	13.1	12.5	7.9	9.3	9.3	9.6	0.3	○
			(10.2)	8.4	※ 9.7	9.1	-0.6	△	
北杜市	旧明野村	23.4	23.7	21.7	15.1	14.7	10.6	-4.1	×
	旧須玉町	19.0	23.0	16.5	15.1	14.8	13.7	-1.1	×
	旧高根町	19.3	20.9	15.0	14.2	13.6	13.3	-0.3	×
	旧長坂町	15.7	21.1	18.4	18.1	15.8	12.0	-3.8	×
	旧大泉村	24.3	20.8	12.3	17.6	19.0	10.3	-8.7	△
	旧白洲町	24.0	25.1	20.4	12.6	12.2	15.9	3.7	○
	旧武川村	27.0	27.8	18.6	16.5	10.0	6.6	-3.4	×
	旧小淵沢町	21.3	22.8	13.4	19.4	10.1	9.4	-0.7	×
					※ 14.5	11.9	-2.6		
甲斐市	旧竜王町	34.7	28.6	18.1	15.4	16.0	14.2	-1.8	△
	旧敷島町	53.2	50.5	38.9	31.5	27.9	24.2	-3.7	×
	旧双葉町	39.1	39.3	28.1	23.9	20.2	14.5	-5.7	×
					※ 19.8	17.2	-2.6		
笛吹市	旧春日居町	26.3	25.9	25.7	26.6	25.2	24.8	-0.4	×
	旧石和町	44.6	43.2	38.3	35.4	31.0	31.6	0.6	○
	旧御坂町	29.8	27.0	24.9	23.7	23.1	24.9	1.8	○
	旧一宮町	28.7	22.4	22.7	19.1	20.0	23.8	3.8	◎
	旧八代町	38.7	33.3	30.9	30.1	28.2	26.8	-1.4	×
	旧境川村	52.0	44.4	40.3	37.6	0.0	23.9	23.9	○
	旧芦川村	33.6	30.5	20.3	32.7	42.1	49.0	6.9	◎
					※ 26.4	27.0	0.6		
上野原市	旧上野原町	0.9	1.3	2.0	2.2	3.0	2.3	-0.7	△
	旧秋山村	0.3	0.1	3.0	4.1	2.2	1.6	-0.6	×
					※ 3.0	2.2	-0.8		

表3. 旧甲府市における購買率(各市町村の人が甲府で買い物をする割合)

(単位:%)

市町村名	平成7年	平成10年	平成13年	平成16年	平成19年	平成22年	増減	傾向	
甲 州 市	旧 塩 山 市	23.0	22.5	20.4	18.3	19.4	18.6	-0.8	△
	旧 勝 沼 町	19.5	20.2	17.0	21.1	19.3	19.4	0.1	○
	旧 大 和 村	18.6	24.6	21.0	17.2	17.3	22.6	5.3	◎
					※ 19.3	18.9	-0.4		
中 央 市	旧 玉 穂 町	23.4	26.0	19.6	15.3	17.5	18.8	1.3	◎
	旧 田 富 町	22.3	18.5	11.7	14.4	13.6	9.9	-3.7	×
	旧 豊 富 村	39.8	29.5	24.3	25.5	0.0	17.7	17.7	○
					※ 14.5	14.7	0.2		
市 川 三 郷 町	旧 三 珠 町	24.5	20.6	13.2	16.0	18.3	9.1	-9.2	△
	旧 市 川 大 門 町	21.6	22.3	13.1	12.7	13.1	10.8	-2.3	△
	旧 六 郷 町	25.7	17.4	9.8	9.2	9.8	13.5	3.7	◎
					※ 13.2	11.0	-2.2		
富 士 川 町	旧 増 穂 町	18.9	17.8	10.4	12.7	9.1	8.6	-0.5	×
	旧 鰻 沢 町	18.4	13.9	12.1	9.8	10.6	7.8	-2.8	△
						8.4	-		
早 川 町	19.1	19.9	14.3	15.0	12.7	13.6	0.9	○	
身 延 町	旧 下 部 町	15.9	20.5	15.3	13.4	20.9	6.6	-14.3	△
	旧 中 富 町	20.3	18.1	12.4	9.4	8.2	9.8	1.6	○
	旧 身 延 町	18.8	15.4	11.3	8.4	8.2	6.0	-2.2	×
					※ 9.8	7.2	-2.6		
南 部 町	旧 南 部 町	5.3	4.6	3.5	3.3	1.4	0.6	-0.8	×
	旧 富 沢 町	1.3	2.9	0.3	1.3	0.0	0.2	0.2	○
			(2.3)	2.4	※ 1.4	0.4	-22.7	△	
昭 和 町	28.5	21.6	13.0	14.4	17.1	14.1	-3.0	△	
道 志 村	0.3	1.5	2.8	8.9	4.5	7.9	3.4	○	
西 桂 町	1.7	1.0	2.2	2.8	5.5	5.1	-0.4	△	
忍 野 村	1.4	2.3	2.9	4.6	7.1	7.8	0.7	◎	
山 中 湖 村	1.9	2.1	3.9	1.6	4.0	4.6	0.6	◎	
鳴 沢 村	1.8	3.7	6.3	6.0	8.8	9.5	0.7	◎	
富 士 河 口 湖 町	旧 河 口 湖 町	3.4	3.9	5.5	5.1	10.7	11.6	0.9	◎
	旧 勝 山 村	4.8	3.1	4.1	5.0	7.9	9.4	1.5	◎
	旧 足 和 田 村	4.6	3.0	2.5	3.2	10.4	10.9	0.5	◎
	旧 上 九 一 色 村	7.7	8.8	6.6	4.5	0.8	0.0	-0.8	×
			(5.2)	5.0	※ 10.1	11.2	1.1	◎	
小 菅 村	3.8	3.9	28.4	9.5	12.6	2.8	-9.8	△	
丹 波 山 村	0.0	14.2	0.0	9.6	5.7	1.8	-3.9	×	

類型は次のとおり

H19 (対H16)	H22 (対H19)	類型
+	+	◎
- or ±0	+	○
+	-	△
- or ±0	-	×

※合併市町村の購買率は、広域に亘るため、備考としてお考え下さい。

なお、富士河口湖町の平成13年・平成16年のデータは上九一色村を含まない。

表4-2 県内の主な商圈(10%以上を商圈とらえた場合の状況)

	旧甲府市商圈	斐崎市商圈	旧長坂町商圈	旧櫛形町商圈	旧白根町商圈	旧田富町商圈	旧竜王町商圈	旧双葉町商圈	旧玉穂町商圈	昭和町商圈
30%以上	旧甲府市 64.2 旧芦川村 49.0 旧中道町 38.6 旧石和町 31.6	旧明野村 50.8 斐崎市 44.6 旧須玉町 42.7 旧武川村 40.3 旧白州町 38.5		旧櫛形町 38.4		旧田富町 54.1 旧三珠町 41.3 旧若草町 35.0 旧市川大門町 34.1 旧豊富村 33.9 旧中富町 31.7	旧竜王町 31.3	旧双葉町 40.6	旧玉穂町 32.2	昭和町 40.8
20%以上	旧八代町 26.8 旧御坂町 24.9 旧春日居町 24.8 旧敷島町 24.1 旧境川村 23.8 旧一宮町 23.8 旧山梨市 22.9 旧大和村 22.6	旧長坂町 27.2 旧高根町 25.2 旧小淵沢町 20.7	旧長坂町 28.1 旧大泉村 27.3 旧高根町 25.1	旧甲西町 25.7 旧芦安村 22.9 旧若草町 22.1	旧芦安村 28.8 旧白根町 23.3	旧玉穂町 29.9 旧下部町 28.5 旧六郷町 28.3 旧身延町 27.8 旧鯉沢町 25.5 早川町 24.6 旧甲西町 23.4 昭和町 22.9 旧増穂町 22.1 旧櫛形町 21.0 旧白根町 20.4			旧豊富村 22.2	旧竜王町 23.5
10%以上	旧勝沼町 19.4 旧塩山市 18.7 旧玉穂町 18.6 旧牧丘町 18.3 旧豊富村 17.8 大月市 17.3 旧白州町 15.9 旧双葉町 14.5 旧竜王町 14.2 昭和町 14.1 早川町 13.7 旧須玉町 13.6 旧六郷町 13.5 旧高根町 13.3 旧長坂町 12.0 斐崎市 11.6 旧市川大門町 10.8 旧足和田村 11.0 旧明野村 10.5 旧大泉村 10.4	旧大泉村 19.5	旧小淵沢町 17.0	旧白根町 19.0 旧増穂町 16.0 旧八田村 14.1	旧八田村 17.5	旧芦安村 19.6 旧八田村 14.5 旧竜王町 13.5 旧中道町 11.9	旧八田村 10.7	旧敷島町 17.0 斐崎市 14.3 旧八田村 13.8 旧明野村 11.4	旧中道町 14.8 旧田富町 13.8 旧三珠町 11.4 昭和町 11.0 旧市川大門町 10.0	旧甲府市 18.3 旧豊富村 15.3 旧玉穂町 13.7 旧三珠町 13.0 旧中道町 12.8 旧下部町 11.2 旧田富町 11.1 旧敷島町 10.7 旧白根町 10.6

表4-2 県内の主な商圈(10%以上を商圈とらえた場合の状況)

	旧石和町商圈	旧山梨市商圈	旧塩山市商圈	旧増穂町商圈	旧市川大門町商圈	旧中富町商圈	旧河口湖町商圈	富士吉田市商圈	都留市商圈	旧上野原町商圈
30%以上	旧石和町 53.0 旧春日居町 46.4 旧八代町 46.1 旧境川村 41.0 旧御坂町 40.1 旧一宮町 35.0 旧芦川村 30.2	旧三富村 33.3	旧三富村 66.7 旧塩山市 51.7 旧牧丘町 41.6 旧勝沼町 38.0 旧大和村 34.5 丹波山村 31.3				旧足和田村 44.0 旧河口湖町 41.0 旧勝山村 36.9 鳴沢村 35.8	富士吉田市 78.1 西桂町 68.6 山中湖村 64.1 忍野村 61.7 道志村 50.7 鳴沢村 42.4 旧勝山村 40.3 旧足和田村 40.2 旧河口湖町 39.7	都留市 50.1 旧秋山村 40.6 大月市 33.9	旧上野原町 30.3
20%以上	旧山梨市 25.1 旧牧丘町 20.9	旧山梨市 25.1		旧鵜沢町 26.7 旧増穂町 25.7				都留市 27.7	道志村 22.7 旧河口湖町 21.4 西桂町 20.0	
10%以上	旧大和村 18.6 旧勝沼町 18.0 旧塩山市 17.4 旧中道町 14.6	旧牧丘町 14.6 旧一宮町 11.5	旧山梨市 18.2	旧中富町 11.0	旧市川大門町 16.7 旧三珠町 12.1	旧中富町 16.3 早川町 12.3 旧下部町 11.2 旧身延町 10.9			旧上野原町 10.3	小菅村 18.7 旧秋山村 15.7

